

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160566011001	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育学部の中学校専攻と特別支援専攻		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育学部本館609研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日の4校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標/Goal	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義+レポートの作成		
授業内容/Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権 8 精神的自由権 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 裁判所 14 家庭裁判所 15 内閣		
キーワード/Key word	憲法		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 ・六法(出版社は問わない)も持参すること		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
受講要件(履修条件)/Requirements	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集(テレビや新聞を見る、家族や友人と話をするなど)をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 2
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160566011002	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉田 省三 / Yoshida Shozo		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	制限しない		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	yosida-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	経済学部本館512		
担当教員TEL / Tel	095-820-6397		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本国憲法97条は、人権を「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」であると同時に「過去幾多の試練に堪へ」てきたという。日本国憲法は、憲法「改正」という現在の「試練」に堪えられるか、憲法を人類の歴史のなかにおいてとらえ直してみよう。		
授業到達目標 / Goal	世界および日本の憲法の歴史、憲法の基本的概念、主要な憲法判例を理解する。個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する人間の育成を期する。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教科書を使用し、人権の思想、人権のためのたたかい、日本国憲法の主要な事件、判例を解説する。		
授業内容 / Class outline / Con	憲法の過去 立憲主義の歴史、現在 人権の実現の状況、未来 改憲問題について講義します。		
キーワード / Key word	立憲主義、民主主義、共和主義		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	(は必携です) 教科書 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 教材 「日本国憲法」「大日本帝国憲法」等を収録する法令集 参考書 森英樹『大事なことは憲法が教えてくれる』新日本出版、2015 .		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 (70%) レポート (30%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	無し。		
アクセシビリティ / Accessibility			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	日本国民はいま、憲法の規範を政府の解釈によって変更するという差し迫った課題をつきつけられています。日本国憲法のひとつひとつの条文のもつ重みを受けとめてみましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	憲法の過去： 立憲主義、憲法とは何か。「人権を承認せず、権力の分立が無い人民は憲法をもたない。」		
第2回	ブルジョア革命と人権		
第3回	人権宣言 - 合州国「独立宣言」・フランス革命「人権宣言」		
第4回	日本の人権思想		
第5回	日本国憲法とその歴史 (1)		
第6回	日本国憲法とその歴史 (2)		
第7回	憲法のキーワード： 権利と義務 (1)		
第8回	憲法のキーワード： 権利と義務 (2)		
第9回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障 (1)		

第10回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（ 2 ）
第11回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（ 3 ）
第12回	憲法のキーワード： 民主主義と権利保障（ 4 ）
第13回	憲法と国際社会
第14回	憲法の未来： 憲法「改正」問題（ 1 ）
第15回	憲法の未来： 憲法「改正」問題（ 2 ）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160566011003	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟21 / RoomA-21		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部 of 学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazuikeya@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部本館 6 0 9 研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日の 4 校時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	憲法の基本事項を理解し、実生活と関連づけて捉えられることが出来るような授業を行う。		
授業到達目標 / Goal	今後の人生や就職に役立つような憲法の知識を身に付けさせること。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義 + レポートの作成		
授業内容 / Class outline/Con	1 オリエンテーション 2 憲法の基礎 3 国民主権と天皇制 4 平和主義 5 基本的人権の基礎 6 包括的基本権と法の下での平等 7 精神的自由権 8 精神的自由権 9 経済的自由権 10 人身の自由・国務請求権・参政権 11 社会権 12 国会 13 裁判所 14 家庭裁判所 15 内閣		
キーワード / Key word	憲法		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	・教科書: 芦部信喜『憲法第五版』岩波書店 ・六法 (出版社は問わない) も持参すること		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回のレポートの合計により成績評価		
受講要件 (履修条件) / Requirements	4/5以上の出席が必須		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書の該当部分を事前に予習した上で、それに関連した事柄について情報収集 (テレビや新聞を見る、家族や友人と話をする等) をし、自ら日常生活に則して憲法を考えるように心がけておけば、レポートが書きやすくなります。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160566011004	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33, 教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標/Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容/Class outline/Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形でも結構ですから、必ず入手して下さい		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		
第7回	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)		
第8回	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)		

第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的關係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160566011005	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標/Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容/Class outline/Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形で結構ですから、必ず入手して下さい		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		
第7回	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)		
第8回	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)		

第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的關係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160566011006	科目番号 / Subject code	05660110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12611_002		
授業科目名 / Subject	日本国憲法 / The Constitution of Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	人文・社会科学科目, 自由選択科目, 人文・社会科学科目, 自由選択科目, 教職免許科目・その		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー/Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本国憲法が、いかに日本国民にとって大切なものであるか、私たちの権利も義務も基本的にこの日本国憲法によって守られていること、そしてこの日本国憲法を守るのもまた私たち自身であることの自覚を持っていただくことを目的としています		
授業到達目標/Goal	日本国を支える一員として、日本国憲法の全体を理解し、大切な条文は諳んじていただくことを期待します		
授業方法 (学習指導法) /Method	必要最小の限度で講義形式で憲法の概要を説明しますが、基本的には実際に争われた裁判の事例を検討することにより、憲法がいかに市民生活に身近でたいせつなものであるかを、実感していただけるような授業を展開したいと考えています。そのため授業の3回目あたりから、裁判形式でみなさんの積極的なディベートを期待しています		
授業内容/Class outline/Con	まず、日本国憲法の重要性について、つぎに日本国憲法の基本的理念である国民主権と平和主義について、講義します。基本的人権については、包括的基本権と法の下での平等、さらに各種の自由権や社会権について、できるだけ身近な判例を数多く取り上げ、検討して参ります。統治機構については、その仕組みを理解し、健全な批判精神をもっていただくために、日々の社会事象を取り上げたいと考えています。 日本国憲法は、関係する条文を毎回確認していきますので、どのような形で結構ですから、必ず入手して下さい		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	日本国憲法の条文を各自用意して下さい(103条しかありませんから、コピーしてもらいたくはありません) 裁判例についてはこちらで用意します		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	判例や条文に関する試験を実施します		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	法とはなにか、憲法と他の法律との関係		
第2回	国民主権 (大日本帝国憲法と日本国憲法)		
第3回	平和主義 (憲法9条、沖縄)		
第4回	幸福追求権 (プライバシーの権利、自己決定権)		
第5回	法の下での平等 (男女は平等か、尊属殺について)		
第6回	内心の自由 (信教の自由、政教分離、学問の自由と大学の自治)		
第7回	表現の自由 (ポルノ・有害図書、報道の自由と限界、教科書検定)		
第8回	経済的自由 (職業選択の自由と営業の規制、私有財産の保障とその制限)		

第9回	人身の自由（適正手続きとは、死刑制度について）
第10回	社会権（生存権と生活保護、教育権は誰のもの、労働基本権）
第11回	国務請求権と参政権 基本的人権の限界（公務員、外国人、私的關係）
第12回	立法（国会の二院制は必要か、一票の重みの格差）
第13回	行政（議員内閣制、行政の肥大化）
第14回	司法（裁判所の組織、裁判員制度）
第15回	地方自治（地方自治の実態、これからの地方自治のあり方） 憲法の保障（憲法改正に関する諸問題）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	anyone		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	Engineering Building 2, E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	anytime		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	Knowledge of physics is indispensable not only for understanding the nature, but also for living one's daily life. It is important to reason logically and express accurately in the social life. By learning physics, we can acquire logical thinking and expression with abstract concepts, and develop a clear sense of perspective. This course is a subject to acquire the minimum knowledge of physics necessary for science teachers.		
授業到達目標/Goal	Able to solve physical problems by using basic mathematics		
授業方法 (学習指導法) /Method	Lecture and excercises		
授業内容/Class outline/Con	Lecture and excercises 1 mechanics(velocity, acceleration) 2 mechanics(equation of motion) 3 mechanics(work, potential energy, kinetic energy, energy conservation) 4 mechanics(momentum, angular momentum, circular motion) 5 mechanics(rigid body, moment of inertia) 6 mechanics(elastic body, deformity) 7 mechanics(summary) 8 electromagnetism(current, Joule heat, resistance, electric circuit) 9 electromagnetism(charge, electric field, potential) 10 electromagnetism(potential) 11 electromagnetism(dielectrics, capacitor, dipole moment) 12 electromagnetism(magnetic field, magnetic flux density, Ampere's law) 13 electromagnetism(electromagnetic induction, inductance) 14 electromagnetism(Maxwell's equations, electromagnetic wave, light) 15 electromagnetism(summary) 16 Final Exam		
キーワード/Key word	mechanics, electromagnetism		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Textbook: R. Abe, Essential Physics (Saiensu-sha, Co., Ltd. Publishers, 2002) ISBN4-7819-1028-9		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Exercise & Report (30 points) and final examination (70 points). Pass mark: 60 points		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ /Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Perfect attendance is recommended. For details, see LACS.		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160568003001	科目番号 / Subject code	05680030
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	物理学 / Physical Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 良信 / Matsuda Yoshinobu		
科目分類 / Class type	自然科学科目, 自由選択科目, 自然科学科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ymat@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	工学部2号館E509		
担当教員TEL/Tel	095-819-2540		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	自然の成り立ちや振る舞いを理解するだけでなく、日常生活を送る中で物理学の知識は欠かせない。社会生活における状況の理解・判断においても、ものごとを論理的に考え、的確に表現することは非常に重要である。物理学を学ぶことにより、私たちは論理的な思考法や抽象的な概念を用いた表現法を身に付けていくことができ、物事の本質を見抜く目を養うことができる。本科目は理科教員として必要な物理の最低限の知識を身につけるための科目である。		
授業到達目標/Goal	物理学が実に豊かな広がりを持ってこの世界の中に存在していること、私たちの身の回りの事柄に深く関係していることを理解し、基本的な数学を用いて個別の具体的な物理問題を解くことができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	講義に演習を織り込みながら、授業を行う。必要最小限の物理学リテラシーとして、広くて豊かな物理学の世界をできるだけ分かりやすい形で提示する。内容としては力学と電磁気学を中心とする古典物理学に焦点を絞る。		
授業内容/Class outline/Con	<p>授業内容(到達目標)</p> <p>1回目 力学(速度、加速などを理解する)</p> <p>2回目 力学(運動方程式などを理解する)</p> <p>3回目 力学(仕事、ポテンシャル、エネルギーなどを理解する)</p> <p>4回目 力学(運動量、角運動量などを理解する)</p> <p>5回目 力学(剛体の運動、慣性モーメントなどを理解する)</p> <p>6回目 力学(変形する物体の性質などを理解する)</p> <p>7回目 力学(力学全体の総括)</p> <p>8回目 電磁気学(電流、ジュール熱、抵抗、電気回路などを理解する)</p> <p>9回目 電磁気学(電荷、電場などを理解する)</p> <p>10回目 電磁気学(電位などを理解する)</p> <p>11回目 電磁気学(誘電体、キャパシタ、電気双極子などを理解する)</p> <p>12回目 電磁気学(電流と磁場、磁束密度、アンペールの法則などを理解する)</p> <p>13回目 電磁気学(電磁誘導、インダクタンスなどを理解する)</p> <p>14回目 電磁気学(Maxwellの方程式、電磁波、光の性質などを理解する)</p> <p>15回目 電磁気学(電磁気学全体の総括)</p> <p>16回目 定期試験</p> <p>(ホームワーク) レポート課題については授業中に指示する。</p>		
キーワード/Key word	力学、電磁気学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: 阿部龍蔵著, Essential 物理学(サイエンス社、新物理学ライブラリ別巻1) ISBN4-7819-1028-9</p> <p>参考書: 大学教養レベルの物理テキストなら何でも良いので、授業と平行して複数冊を読むと良い。</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	積極的参加状況と演習課題(30点)および最終試験(70点)の合計で評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
受講要件(履修条件)/Requirements	特になし		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	全回出席を原則とする。やむを得ず欠席する場合は事前に電子メールで担当教員に連絡すること。板書と演習を中心に授業を行うので、講義ノートをしっかり作ってください。内容を理解するコツは、とにかくたくさん書くことです。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160569000701	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Subject	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	学外非常勤講師		
担当教員TEL / Tel	09045868939		
担当教員オフィスアワー / Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	21世紀は人権の世紀ともいわれる。本講座は人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハンセン病、外国人、性的マイノリティ、冤罪等個別の人権問題に向き合う力をつけることを目的とする。		
授業到達目標 / Goal	上記の人権課題について、正しく理解し考える力をつける。		
授業方法(学習指導法) / Method	講義及びワークショップ		
授業内容 / Class outline / Con	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、日本の具体的な人権課題について学ぶことを目的とする。		
キーワード / Key word	知識とスキル・態度		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いない。プリント等配布。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間レポート(20)及び最終レポート(50)、授業ごとの「意見質問用紙」記載内容(30)を考慮する。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	正確な知識をつけ、考える力を身に付けてください。配布の史料は、ファイルに閉じるようにしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	今なぜ人権教育か? 私たちの町再発見		
第2回	差別とは? 人権問題とは?		
第3回	教科書に見る部落問題		
第4回	教科書に見る部落問題		
第5回	在日外国人と人権		
第6回	在日外国人と人権		
第7回	アイヌ問題と人権		
第8回	アイヌ問題と人権		
第9回	ハンセン病と人権		
第10回	ハンセン病と人権		
第11回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)		
第12回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)		
第13回	人権問題の解決のに向けたプログラム		

第14回	人権問題の解決に向けたプログラム
第15回	人権問題の解決に向けたワークショップ

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160569000702	科目番号 / Subject code	05690007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11311_001		
授業科目名 / Subject	解放講座 / On Social Leveling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	阿南 重幸 / Anan Shigeyuki		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	scykf338@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	学外非常勤講師		
担当教員TEL / Tel	09045868939		
担当教員オフィスアワー / Office hours	scykf338@yahoo.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	21世紀は人権の世紀ともいわれる。本講座は人権の意味を正しく理解し、部落問題やアイヌ、ハン セン病、外国人、性的マイノリティ、冤罪等個別の人権問題に向き合う力をつけることを目的とす る。		
授業到達目標 / Goal	上記の人権課題について、正しく理解し考える力をつける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義及びワークショップ		
授業内容 / Class outline / Con	人権に関する世界及び日本の歩みを振り返り、日本の具体的な人権課題について学ぶことを目的と する。		
キーワード / Key word	知識とスキル・態度		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	テキストは用いない。プリント等配布。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	中間レポート (20) 及び最終レポート (50)、授業ごとの「意見質問用紙」記載内容 (30) を考慮 する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	正確な知識をつけ、考える力を身に付けてください。配布の史料は、ファイルに閉じるようにして ください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	今なぜ人権教育か? 私たちの町再発見		
第2回	差別とは? 人権問題とは?		
第3回	教科書に見る部落問題		
第4回	教科書に見る部落問題		
第5回	在日外国人と人権		
第6回	在日外国人と人権		
第7回	アイヌ問題と人権		
第8回	アイヌ問題と人権		
第9回	ハンセン病と人権		
第10回	ハンセン病と人権		
第11回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)		
第12回	冤罪事件について具体的事例を中心として (藤澤秀雄)		
第13回	人権問題の解決のに向けたプログラム		

第14回	人権問題の解決に向けたプログラム
第15回	人権問題の解決に向けたワークショップ

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160569001101	科目番号 / Subject code	05690011
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11611_001		
授業科目名 / Subject	全学乗船実習 / Training Cruise for General Students		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高山 久明 / Takayama Hisaaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高山 久明 / Takayama Hisaaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高山 久明 / Takayama Hisaaki		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kyumei@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	水産学部本館3F東階段突当り右前		
担当教員TEL/Tel	内線2809		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	練習船による航海実習、運用実習、漁業実習、海洋観測実習及びデッキワークなど		
授業到達目標 / Goal	海洋及び船舶に慣れ、親しみ、団体生活を行い、協調性・寛容性を養い船内生活を行える。また、各実習を行い、船の運航に慣れる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	各実習の事前説明を行い資料・映像を通して行い、その後各実習を体験し慣れるとともに身につける。		
授業内容 / Class outline/Con	航海実習、運用実習、漁業実習、観測実習及びデッキワークなど		
キーワード / Key word	海、練習船、漁業実習・航海実習など乗船実習、船上体験		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	事前説明会及び乗船中に配布された資料など		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポート課題提出、乗船実習内容を理解して課題提出が出来れば合格		
受講要件 (履修条件) / Requirements	乗船実習前の事前説明会に出席すること。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	陸上とは違う特殊環境下の海上に浮かぶ船に乗ることで、日常性を離れた生活を経験をし、日々何気なく過ごしている現在の自分の日常生活の環境が、いかに恵まれているか、素晴らしいものであるか、再認識できる機会にしてください。また、大自然の海、船の素晴らしさも再認識してください。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160569061401	科目番号 / Subject code	05690614
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12661_002		
授業科目名 / Subject	オランダの文化 / Dutch Culture		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	noboruy@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	言語教育研究センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2080		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本と北ヨーロッパの中心国の一つとして発展してきたオランダとの交流が江戸初期に長崎から始まり、その交流が現在まで400年以上続いています。この講義ではオランダの文化と歴史を中心に、北ヨーロッパの歴史的発展、または、長崎と深い関わりのある日蘭交流について、基本的な知識の修得と文化理解を目的とします。		
授業到達目標/Goal	オランダ・北ヨーロッパの文化と歴史、または、日蘭交流についての基本的な知識を修得します。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義形式 この講義の為に作成した資料や視聴覚教材 (powerpoint) を利用して、世界史が得意ではない学生にも、より分かりやすく、オランダの文化と歴史を紹介します。		
授業内容/Class outline/Con	ローマ時代前から現在までの歴史上の出来事を説明しながら、オランダの国とその発展を理解させます。オランダを知ることで北ヨーロッパの文化の発展も理解することができます。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教材 : プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の提出物30%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則		
アクセシビリティ /Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	講義の内容をしっかりと聞き、渡された教材を予習・復習すれば、オランダや西欧の文化と歴史を広く、楽しく理解できるようになります。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オランダの紹介		
第2回	9世紀までのオランダ ローマ帝国時代・キリスト教の流布・カール大帝の文化ルネッサンス		
第3回	15世紀までのオランダ オランダ語文学の誕生・貿易国としての発展		
第4回	16世紀までのオランダ エラスムスとヒューマニズム・ルターとプロテスタント教		
第5回	16世紀までのオランダ オランダの独立戦争・ネーデルラント7州連邦共和国の誕生		
第6回	16世紀までのオランダ 15・16世紀の芸術家たち (ファン・エイク、プリューゲルなど)		
第7回	17世紀のオランダ オランダ東インド会社の創立・日蘭交流		
第8回	17世紀のオランダ 黄金時代の芸術 (レンブラント・フェルメールなど)・世界貿易中心のオランダ		
第9回	17世紀のオランダ 黄金時代の学者たち・黄金時代の英雄たち・奴隷制		
第10回	第10課 18・19世紀のオランダ ナポレオンの時代・ネーデルラント王国の誕生		
第11回	19・20世紀のオランダ ゴッホの芸術・女性権利運動・第1次世界大戦・20世紀の芸術 (モンドリアンなど)		

第12回	20世紀のオランダ 第2次世界大戦・インドネシアの独立
第13回	オランダの宗教・祭り・伝統
第14回	オランダの教育・政治・世界の中のオランダ
第15回	講義の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160569061501	科目番号 / Subject code	05690615
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12711_002		
授業科目名 / Subject	オランダの言語 / Dutch Language		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	山下 龍 / Yamashita Noboru		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	山下 龍 / Yamashita Noboru		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	info@ryuumon.com		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	初級レベルのオランダ語入門講義です。授業には、視聴覚教材も使用し、より分かりやすく、より楽しくオランダ語を学習することで、オランダ文化への興味を喚起させることをねらいとしています。		
授業到達目標 / Goal	初級レベルのオランダ語ができるようになります。資料に示された約600語のオランダ語を修得します。		
授業方法(学習指導法) / Method	ネイティブのオランダ人による日本語での講義。この講義の為に作成した資料を活用し、聞く・話す・書くことを通して聴解・読解・文法を学びます。授業中に学習したことを家庭でCD-ROMを使用して復習してもらいます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業では、資料の第1課 自己紹介から始めます。家庭でCD-ROMを使いながら復習してもらいます。基本の文法を会話の中に取り入れ、学生に会話をしながら自然に文法を身に付けます。指示された範囲や内容を復習して授業に参加してください。講義での演習とCD-ROMでの復習を通してオランダ語のリズムや音も学びます。また、この資料を用いて、簡単な文を書いてもらい、文法の練習も行います。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教材プリント配布 CD-ROM 100円		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	教材 : プリント教材 毎回配布します。成績評価の方法・基準等 成績評価は、定期試験70%、授業中の発表と提出物30%で行います。		
受講要件(履修条件) / Requirements	全回出席が原則。CD-ROMは必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	オランダ語という新しい言語を勉強する不安もあると思いますが、15回の講義でオランダ語の基本をしっかりと、楽しく教えますので、是非挑戦してみてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介 (現在形の作り方・動詞活用)		
第2回	相手の事を尋ねる (一般疑問文・疑問詞を伴う疑問文)		
第3回	相手の事を尋ねる (人称代名詞・否定文)		
第4回	自己紹介 (形容詞・副詞)		
第5回	第1回~第4回の復習		
第6回	家族の紹介、時計を読む (比較級と最上級)		
第7回	一日の予定 (名詞の単数・複数形・時刻と場所)		
第8回	一週間の予定 (助動詞の使い方)		

第9回	約束を交わす（勧誘表現）
第10回	第5回～第8回の復習
第11回	レストランでの会話（過去時制）
第12回	相手の事を尋ねる（現在完了形）
第13回	道を尋ねる（命令形）
第14回	第9回～第11回の復習
第15回	講義の総括 会話の発表
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2016/04/01 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588000101	科目番号 / Subject code	05880001
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11111_006		
授業科目名 / Subject	特別活動論 / Theory of Educational Special Activity		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	柳田 泰典 / Yanagida Yasunori, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	柳田 泰典 / Yanagida Yasunori		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	柳田 泰典 / Yanagida Yasunori, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生(クラス等) / Object Student	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	柳田泰典(非常勤)		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	<p>学習指導要領の包括的理解と教育体験事例の分析によって教育実践力の高度化をめざす。 高等学校学習指導要領(特別活動)の包括的な理解 ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の基本的な性格と教育的意義 4つのユニット: 「ほめる・叱る」ユニット、45(50)分授業ユニット、トラブルユニット、学級生活課題・行事ユニットの分析とグループ討論。</p>		
授業到達目標 / Goal	<p>特別活動(ホームルーム活動・生徒会活動・学校行事)の課題を明確にし、指導内容を構想することができる。 4つのユニットの学級指導メッセージの原理と課題について理解することができる。 高等学校学習指導要領を包括的に理解することができる。</p>		
授業方法(学習指導法) / Method	講義及びグループ討論によって行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>第1回 特別活動とは(映画「チェスト」から考える) 第2回 教育課程と特別活動(映画「チェスト」から考える) 第3回 ホームルーム活動の目標(高等学校学習指導要領から考える) 第4回 ホームルーム活動の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える) 第5回 生徒会活動の目標(高等学校学習指導要領から考える) 第6回 生徒会活動の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える) 第7回 学校行事の目標(高等学校学習指導要領から考える) 第8回 学校行事の基本的な性格と教育的意義(高等学校学習指導要領から考える) 第9回 「ほめる・叱る」ユニットの検討(あなたメッセージ) 第10回 「ほめる・叱る」ユニットの検討(わたしメッセージ) 第11回 45(50)分授業ユニットの検討(IRE構造・授業デザイン) 第12回 トラブルユニットの検討(ごめんね完了型・Win-Win型) 第13回 学級生活課題・行事ユニットの検討(掃除・合唱コンクールなど) 第14回 高等学校学習指導要領の包括的理解1(目標と内容を中心に) 第15回 高等学校学習指導要領の包括的理解2(指導計画を中心に) 第16回 まとめ</p>		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	文部科学省『高等学校学習指導要領』東山書房 2011年		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	<p>話す・書く・調べる等、発表成果評価 30% 課題解決能力、グループでの協議・協働姿勢 30% 最終レポート 40%</p>		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2016/04/01 ~ 2017/03/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588000401	科目番号 / Subject code	05880004
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11161_006		
授業科目名 / Subject	教育方法・技術論 / Methodology and Techniques Of Education		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka, 藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	若菜 啓孝 / Wakana Hiroataka, 藤井 佑介 / Yusuke Fujii		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	学習者の立場に立った教材開発のあり方、教材提示の方法、授業実践と教育方法などについて学習する。特に、コンピュータ等の教育メディアの利用、情報通信技術の利用について、最近の動向を踏まえた事例の紹介などを行う。また、実際に教育コンテンツを作成することで教育に必要な情報技術を修得し、ICT活用指導力を身につける。		
授業到達目標 / Goal	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育工学的な視点から、授業を構成する要素を列挙でき、また、各要素の特徴を理論的な背景を踏まえて説明できる。 2. 教材分析や授業設計の手続きを説明できる。 3. 授業の設計、実施、評価、改善に慣れ親しむ。 		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義および演習を行う。		
授業内容 / Class outline / Con	<p>第1回：はじめに 本講義「教育方法・技術論」の目標と概要について (ガイダンス) (担当：若菜啓孝)</p> <p>第2回：教育方法の基礎的理解 (担当：藤井佑介)</p> <p>第3回：教育方法の視点 (担当：藤井佑介)</p> <p>第4回：授業の設計 (担当：藤井佑介)</p> <p>第5回：授業構想の検討 (担当：藤井佑介)</p> <p>第6回：教材研究の方法 (担当：藤井佑介)</p> <p>第7回：学習指導案の作成 (担当：若菜啓孝、藤井佑介)</p> <p>第8回：評価計画の立案 (評価の観点と基準) (担当：若菜啓孝、藤井佑介)</p> <p>第9回：教授方略の検討 (担当：若菜啓孝、藤井佑介)</p> <p>第10回：協同学習の方法 (担当：若菜啓孝)</p> <p>第11回：ICTを利用した教育の方法 (担当：若菜啓孝)</p> <p>第12回：デジタル教材作成法と情報モラル (担当：若菜啓孝)</p> <p>第13回：デジタル教材作成の実践 (グループワークを含む) (担当：若菜啓孝)</p> <p>第14回：授業評価と授業改善 (グループワーク) (担当：若菜啓孝)</p> <p>第15回：全体のまとめ (担当：若菜啓孝)</p> <p>定期試験</p>		
キーワード / Key word	授業設計、教材開発、ICT		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教師のためのインストラクショナルデザイン・授業設計マニュアル 稲垣 忠・鈴木克明編著 (北大路書房)</p> <p>参考書・参考資料等</p> <p>学習者とともに取り組む授業改善—授業設計・教育の方法および技術・学習評価 松田稔樹 星野敦子 波多野和彦 著 (学文社)</p>		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	課題60%、期末試験40%の配分で評価し、総合点60点以上を合格とする。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility			
備考 (URL) / Remarks (URL)	https://lacs.nagasaki-u.ac.jp/		
学生へのメッセージ / Message for students			

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	他 / Oth. 0
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/09/29		
必修選択 / Required/Elective class	選択, 自由 / elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0, 0.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588000701	科目番号 / Subject code	05880007
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11211_006		
授業科目名 / Subject	生徒・進路指導論 / Academic and Career Guidance		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	江頭 明文 / egashira akihumi, 小原 達朗 / Obara Taturou, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	江頭 明文 / egashira akihumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	江頭 明文 / egashira akihumi, 小原 達朗 / Obara Taturou, 北浦 剛資 / Tsuyoshi Kitaura		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 教職に関する科目, 査定外		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room			
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	a-egaega@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部527号室 (江頭)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2089		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時 (要メール連絡)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	一人ひとりの生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動が生徒指導である。このような生徒指導の目的や意義、課題を理解するとともに、目的達成のための技法の習得や資質の向上をねらいとする。 生徒指導や進路指導の理念や意義、生徒が抱える諸課題等についての理解を深めるとともに、実践的な指導力の基礎を主体的に身につけさせるために、以下の計画で学習を進める。		
授業到達目標 / Goal	生徒指導や進路指導の理念や技法、生徒の支援の在り方等について理解するとともに、実践的指導力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	生徒・進路指導の理念や意義について講義、事例を踏まえた協議、プレゼンテーション		
授業内容 / Class outline/Con			
キーワード / Key word	実践的生徒指導力 児童生徒理解 キャリア教育		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	生徒指導提要 (文部科学省)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	演習成果資料・レポート (70%) 授業及び議論への参画態度 (30%)		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	生徒指導の意義と原理 [担当: 北浦]		
第2回	生徒指導と教育課程 (目的、内容、方法等) [担当: 北浦]		
第3回	生徒理解の方法と技術 (教育相談等) [担当: 北浦]		
第4回	部活動の意義とその在り方 [担当: 北浦]		
第5回	問題行動と生徒の心理 [担当: 小原]		
第6回	生徒指導の実際 (全体指導と個別の課題を抱える生徒の指導) [担当: 小原]		
第7回	生徒指導の実際 (演習: 事例研究 問題行動の早期発見 [担当: 北浦])		
第8回	生徒指導の実際 (演習: 事例研究 いじめ、不登校への対応) [担当: 北浦]		
第9回	生徒指導と法 [担当: 北浦]		

第10回	家庭・地域・関係機関との連携〔担当：北浦〕
第11回	進路指導の理念と意義〔担当：江頭〕
第12回	進路指導と教育課程〔担当：江頭〕
第13回	キャリア教育の推進〔担当：江頭〕
第14回	進路実現に向けた指導の実際〔担当：江頭〕
第15回	進路実現に向けた指導の実際〔担当：江頭〕
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588005201	科目番号 / Subject code	05880052
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12211_002		
授業科目名 / Subject	ジェンダーと法 / Gender and Law		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	植木 とみ子 / Tomiko Ueki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	tuterrace@kzh.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL / Tel	092-521-6851		
担当教員オフィスアワー / Office hours	eメールにて随時受け付けます		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	いまだ男女共同参画が実現していない現代日本社会にあって、ジェンダーバイアスとは何かを見る 目を養い、バイアスにとらわれていることで、日本人がいかに精神的、経済的に貴重なものを逃し ているかに気づいていただきます		
授業到達目標 / Goal	すぐにはものの見方、考え方が変わるとは思われませんが、少なくとも身の回りの事象を歴史的的大 局的に見る訓練をする事により、グローバルスタンダードを持ち、今の日本の閉塞状況を打ち壊す ことができるような、自立した大人になるお手伝いをします		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本的には講義ですが、みなさんに自分で考えていただくために演習形式も取り入れて、できる だけ多く質問を投げかけ、一緒に考えて行きたいと思っています。みなさんには積極的に参画してい ただきたいと思えます		
授業内容 / Class outline / Con	「第一部 ジェンダーはどう形成されてきたか (1~5)」では、過去の男女のジェンダー役割と その変遷を振り返ります 「第二部 男女共同参画社会形成への道 (6~8)」では、国際婦人年をきっかけにした女子差別 撤廃から男女共同参画までの世界と日本の歩みを見ます 「第三部 いまだ残る問題点 (9~14)」では、わが国においていまだ根強くある様々なジェン ダーバイアスの実態を知り、そのことがいかに社会問題を引き起こしているかを検証します 「第四部 真の男女共同参画社会の実現に向けて (15)」では、ジェンダーバイアスにとらわれ ない、しなやかな生き方ができるための方策を探ります あらかじめ決まったテキストはありません。毎回プリントを配布しますし、関連した文献を紹介し ます		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布、そのつど参考文献を紹介する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	授業での積極的発言、毎回の短い感想文、定期試験の成績を総合評価する		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	常に社会の出来事をチェックし、自分との関係を考えること		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	歴史に見る男女の姿 (古代・未開社会と母系制、封建社会における男性優位主義)		
第2回	明治から昭和初期の女性 (天皇制家族国家体制下での男性と女性、作られた「良妻賢母主義」)		
第3回	戦後の解放 (憲法、民法改正の中での女性の地位、女性の社会進出)		
第4回	高度成長期における男性と女性 (マイホーム主義、男女の役割分担の拡大最生産)		
第5回	世界史での女性差別 (ハムラビ法典から近代市民社会成立期まで)		
第6回	世界的な女性解放の潮流 (国際婦人年をきっかけに、「女子差別撤廃条約」登場の背景)		

第7回	世界の現状（北欧先進諸国の女性たち、開発途上国の女性たち）
第8回	日本の取組み（国の「婦人問題企画推進本部」設置から、「男女雇用機会均等法」制定の舞台裏、地域での取組み）
第9回	ジェンダーと法制度（憲法における平等保障、皇室典範や民法にまだに残る男系主義）
第10回	ジェンダーと政治（政治はだれのもの、日本の女性議員の割合は世界でも超低レベル）
第11回	ジェンダーと雇用（女性の平均賃金は男性の半分、女性が働き続けられないワケ）
第12回	ジェンダーと福祉・社会保障（女性たちはなぜ子どもを産まないか、主婦の年金は誰が払うの？）
第13回	ジェンダーと家族（夫と妻の役割、いま子どもが育っていない！）
第14回	ジェンダーと性（リプロダクティブ・ライツ、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント）
第15回	新たな生き方の提示（高齢社会は資源の宝庫、一度の人生を悔いなく生きる）
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588005301	科目番号 / Subject code	05880053
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12261_002		
授業科目名 / Subject	芸術と文化 / Arts and Culture		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀内 伊吹 / Horiuti Ibuki		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student	主対象、1年-4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	horiuchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部音楽棟 2階 2		
担当教員TEL / Tel	095 \ 819-2343		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 6時間目		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	長崎の芸術文化活動の実態を概観し、実際に文化施設に出かけ、芸術鑑賞を行う。		
授業到達目標 / Goal	音楽文化を取り巻く状況が理解でき、実際の演奏会を鑑賞し、生の演奏に触れる喜びを感じ取ることが出来る。		
授業方法 (学習指導法) / Method	視聴覚機器を活用して、またその分野のゲストをお迎えしての講義と文化施設に出かけての演習。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	音楽文化、文化ホール、自主文化事業、音楽祭		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	その都度指示します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	推薦する文化イベントから2つを選択し、自分の意見を交えた芸術体験レポートを提出。レポートによる評価を行う。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	心を静めて芸術鑑賞ができること		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り 組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	外部講師の先生方のご都合により、授業内容が変更になる場合があります。授業開始時に、スケジュールを示します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	この授業の進め方、ガイダンス		
第2回	「長崎の文化活動について」		
第3回	「長崎の音楽文化活動の現状」		
第4回	文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう		
第5回	「音楽文化活動としての自主文化公演」		
第6回	「美術と音楽」ゲストスピーカー、米田館長をお迎えして		
第7回	「美術と音楽、そして芸術」		
第8回	「文化イベントを企画、提案してみよう」		
第9回	「文化イベントを企画、提案してみよう」		
第10回	「長崎の歴史と文化」ゲストスピーカー、大堀館長を迎えて		
第11回	「音楽芸術に親しむ方法」		
第12回	「季節をめぐるの音楽」		

第13回	「文化ホールに出かけ、実際にコンサートを鑑賞しよう」
第14回	「長崎の音楽活動、その行方」
第15回	「人生の友としての舞台芸術」
第16回	(予備)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588005701	科目番号 / Subject code	05880057
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22319_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(フランス語) / Advanced French		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	大橋 絵理 / Oohashi Eri		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4, 5, 6	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	eohashi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	環境科学部棟 1階(123-2)		
担当教員TEL / Tel	095-819-2086		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日 12:00 - 12:50 水曜日 12:00 - 12:50 木曜日 10:30 - 12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	フランス語のコミュニケーションの実践力をさらに身につけるための授業です。 自分自身の言葉で明確に考えを表現し、ヨーロッパ共通言語参照枠のA2レベルに相当する授業となります。		
授業到達目標 / Goal	CALL教室やIpadを使用して、復習をしながら、さらに完璧な会話力を身につけることを目標とします。		
授業方法(学習指導法) / Method	教科書を使用しながらフランス語でコミュニケーションをとります。 3人程度のグループに分かれて、Ipadを使用し、シナリオを作り、それをビデオにとります。 他にも、皆さんの希望を聞きながら授業をみんなで作り上げます。		
授業内容 / Class outline / Con	授業内容(概要)		
キーワード / Key word	上級フランス語		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	コピーを渡します。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	発表50%、課題25%、授業態度25%を総合的に判断する。		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	皆さんの興味・関心があることを教えてください。それらを取り入れながら授業していきます。時間割では水曜の6限になっていますが、受講希望者の意見を聞いて、時間割を変えます。受講希望者で水曜の6限に来れない場合は、eohashi@nagasaki-u.ac.jp に受講可能な曜日と時間をメールしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Ipadを使って、発音を調べよう。		
第2回	Dragon dictationを使用して、発音を練習してみよう。		
第3回	「～していたものだった」を学ぶ 1) サッカーをしていた 2) 漫画をよんでいた 3) 塾に行っていた		

第4回	「未来形」を学ぶ 1) 天気予報を言ってみる 2) 1年の予定を言う 3) ペアレッスン
第5回	「関係代名詞」を学ぶ 1) 二つの文をひとつにする 2) チャットをしよう 3) シャンソンの単語を聞き取ろう
第6回	友達を映画にさそう会話を考えよう。
第7回	パワーポイントで自分の出身県を紹介しよう
第8回	発表
第9回	グループワーク(1) シナリオを作ってみる
第10回	グループワーク(2) Ipad でビデオを撮影しよう
第11回	発表
第12回	友達とレストランに行く会話を考えよう。
第13回	グループワーク(1) シナリオを作ってみる
第14回	グループワーク(2) シナリオを作ってみる
第15回	グループワーク(3) Ipad でビデオで撮影しよう
第16回	発表

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588005801	科目番号 / Subject code	05880058
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22419_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(中国語) / Advanced Chinese		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	楊 曉安 / Yang Xiaolan		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4, 5, 6	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	xiaolan@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2166		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日の6校時		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	本講は学生が2年次までに習得した中国語基礎コミュニケーション能力の向上とより高度な表現力の養成をめざす。「読む・書く・聴く・話す」の四能力のうち、特に「聞く・話す」に重点を置きながら、標準的な日常会話ができる語学力を習得させる。		
授業到達目標/Goal	テキストをもとに、日常生活によく使われる表現を用いて基本的な文法を学び、標準的な日常会話ができるようにする。		
授業方法(学習指導法)/Method	各課はテーマを設定し、その会話の場面に応じた語彙・文法表現などを導入した上で、ペアを組ませて会話練習を行い、現在の中国で実際に使われている口語の生き生きとした表現を学ぶ。コミュニケーションの能力をバランスよく習得し、「聴く、話す」能力が向上するように努める。		
授業内容/Class outline/Con	語学の「読む・聞く・話す・書く」の四技能のうち、特に「聞く・話す」能力を高めることに重点を置き、日常会話ができる語学力を習得させる。毎回の授業ではテキストの内容に関連する場面を想定し、実践会話の練習をさせる。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント配布		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	期末テスト(60%)、口頭発表・課題(30%)、授業への積極的な参加(10%)などを総合して評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	単位を取るためには、3分の2以上の出席が必要です。3分の1以上欠席すると期末テストは受けられません。遅刻3回は欠席1回の扱いになります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第1課 自己紹介		
第2回	第2課 電話をかける		
第3回	第3課 道を尋ねる		
第4回	第4課 買い物		
第5回	第5課 銀行で		
第6回	第6課 郵便局で		
第7回	第1課~第6課のまとめ		
第8回	第7課 病院で		
第9回	第8課 食事		
第10回	第9課 宿泊		

第11回	第10課 交通
第12回	第11課 旅行
第13回	第12課 アルバイト
第14回	第7課～第12課のまとめ
第15回	総合復習
第16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588005901	科目番号 / Subject code	05880059
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22519_032		
授業科目名 / Subject	上級外国語(韓国語) / Advanced Korean		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	劉 卿美 / Yuu Kiyonmi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	3, 4, 5, 6	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生(クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	you-kiss@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	B-106		
担当教員TEL/Tel	095-819-2081		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間以外は、基本的に対応可。時間割は教員研究室の前に掲示。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	韓国語 ~ で身につけた韓国語コミュニケーション能力を総合し、実践する科目です。		
授業到達目標/Goal	<p>リサーチに必要な資料を日韓両言語で収集し、分析することができる。 日韓両言語でリサーチを行うことができる。 リサーチ結果を、日韓両言語で分かりやすく発信することができる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	短期間(2泊3日程度)の現地(韓国)でのグループ・リサーチを行います。現地リサーチにむけて、事前に必要な資料収集を行います。リサーチ後は結果をまとめ、プレゼンを行います。		
授業内容/Class outline/Con	授業はグループワークが中心となります。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book			
成績評価の方法・基準等/Evaluation	事前活動 30% 現地リサーチ 30% プレゼン 20% 最終レポート 20%		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則、韓国 ~ を履修した人を対象とします。また現地リサーチを含め、授業には全回出席しなければなりません。現地リサーチのための費用は本人負担となります。また受講希望者が、グループリサーチに必要な数に達しない場合は、開講しないことがあります。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588006501	科目番号 / Subject code	05880065
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	共生するアジアの多文化社会 / Living Together in Multicultural Asian Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori, 森川 裕二 / Morikawa Yuji, 南 誠 / Minami Makoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[多文化] 2号館3F 3A講義室		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL/Tel	819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日4校時 要:メールにてアポイントメント		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	共生するアジアの多文化社会をいかに構想すべきか。この問いに対し、社会学、人類学、政治学、歴史学、経済学等の多彩な講師陣による、学際性と総合性を同時に探求した講義を提供する。具体的には「共生」を講義全般に共通する鍵概念に据えて、理論的な基礎を学ぶ「知のクロスオーバー」、さらに「記憶との共生」、「越境する文化・人」、「アジアのガバナンス」の3つのテーマ別セッションで構成する。授業を通じて、国家、市民、地方社会といった多様な主体が形成するアジアの現状についての理解を促すとともに、さらに授業に併催するセミナー等の企画を通じて、「共生するアジアの多文化社会」の課題についての議論を深めていく。		
授業到達目標 / Goal	アジアを多文化状況とその共生的未来について、学術的な根拠づけをもって論じることができるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	教員の単独開講の回、ゲスト講師の講演および担当教員・ゲスト講師・受講生共同討議の回を組み合わせることで、講義科目の長所とアクティブラーニングの長所を接続させる形で展開する。		
授業内容 / Class outline / Con	講義は四つのパートに別れている。 I 「知のクロスオーバー」 現在の人文・社会科学が「共生」、「文化」、「アジア」にアプローチする際の基本視角を学説する。 II 「記憶との共生」 主として人文学的アプローチにより、アジアの歴史・記憶を学問的に捉え、未来を構想するための主要な論点を確認する。 III 「越境する文化・人」 主として社会学的アプローチにより、人と文化の移動という観点からアジアを捉え直すための主要な論点を確認する。 IV 「アジアのガバナンス」 主として社会科学的アプローチにより、アジアの現状と未来を具体的に構想するための主要論点を確認する。		
キーワード / Key word	アジア、共生、多文化社会		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は指定せず、紙媒体またはLACSを利用して資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回のレスポンスペーパー 75% 最終レポート 25%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility			
備考 (URL) / Remarks (URL)	http://asia.prj.nagasaki-u.ac.jp/		
学生へのメッセージ / Message for students	本講義は、平成22年度～27年度長崎大学重点研究プロジェクトの成果を教育に還元するという目的を持ちます (上記URL参照)。 ゲスト講師は、重点研究プロジェクトが獲得した予算の枠組で招聘します。ゲスト講師の講演回を開催しますので、積極的に参加してください。ゲスト講師については授業の際に詳しく説明します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	アジアにおける記憶との共生 (葉柳和則)		
第2回	方法論的トランスナショナリズムとアジア (葉柳和則)		

第3回	政治学的トポスとしての沖縄（コンペル・ラドミール）
第4回	トポスとしての軍艦島（葉柳和則）
第5回	長崎現代史とアジア（葉柳和則）
第6回	日本と韓国をつなぐトポス（葉柳和則）
第7回	陶片の想像力（野上建紀）
第8回	原爆被災の記憶（葉柳和則）
第9回	ワンアジアの構想（葉柳和則）
第10回	東アジアの歴史と記憶（葉柳和則）
第11回	日中関係と歴史認識（葉柳和則）
第12回	満州の歴史が呼び覚ます想像力（葉柳和則）
第13回	「漂泊するアジアの民」（葉柳和則）
第14回	アジアのガバナンスと市民社会（葉柳和則）
第15回	東アジア共同体の可能性と不可能性（葉柳和則）
第16回	レポート

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588006601	科目番号 / Subject code	05880066
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	自分のキャリアを考える講座 ~ 男女共同参画とダイバーシティの視点から ~ / Think Your Own Career - From Viewpoint of Gender Equality and Diversity -		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	伊東 昌子 / Ito Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	伊東 昌子 / Ito Masako		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33, 教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masako@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	ダイバーシティ推進センター		
担当教員TEL / Tel	095-819-2383		
担当教員オフィスアワー / Office hours	8:30-12:00, 13:00-18:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	男女共同参画・ワークライフバランス・ダイバーシティを通して、社会の一員としてのキャリア形成に役立てる。		
授業到達目標 / Goal	自分をよく理解すること、自分のやりたいこと、なりたい人物像を知ること。ワークライフバランス・ダイバーシティ(多様性)の意味を理解し、自分の将来のキャリア形成に関連付けることができるようになる		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義、グループワーク、実習		
授業内容 / Class outline/Con	別途記載		
キーワード / Key word	ダイバーシティ(多様性)、ワークライフバランス、キャリア形成		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	必要に応じて資料を配布する		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	レポートとプレゼンテーション(60%)、出席(40%) プレゼンテーションは、グループで選んだ課題をグループでまとめて、パワーポイントで発表してもらいます。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	特になし		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)	http://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp ; http://nagasaki-ajisai.jp		
学生へのメッセージ / Message for students	この講義を担当するのは、長崎大学ダイバーシティ推進センターの伊東昌子です。長崎大学医学部を卒業して、長崎大学病院で医師として働き、今は同大学ダイバーシティ推進センターに勤務しています。ダイバーシティとは「多様性」という意味で、ダイバーシティ推進とは、さまざまな考え方や価値観を受け入れて、個人が個人としてイキイキと過ごし、自分の「やってみたいこと」「仕事にしたいこと」「こうやって生きたい」と思っていることを実現できるようにすることです。自分の人生と仕事のキャリアを考え、なりたい自分を見つける、また社会生活において他の人の考え方や価値観を尊重することの重要性や生活と仕事の相乗効果と一緒に考え、これから社会人になっていくみなさんために有意義な講義にしていきたいと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自分のキャリアを自分で考える		
第2回	多様なライフスタイルにおけるワークライフバランス		
第3回	ワークライフバランスとダイバーシティを考える		
第4回	潜在的な性別役割分担はどのようにして解消できるか		
第5回	PBL: 柔軟な働き方・柔軟な生き方について考える		
第6回	女性活躍推進と男性の意識・女性の意識		
第7回	将来の働く君たちに		
第8回	グループ発表		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588006701	科目番号 / Subject code	05880067
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	データの科学 / Data Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宰 / Yoshimura Osamu		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	osamu@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	大学教育イノベーションセンター・アドミッション部門		
担当教員TEL/Tel	095-819-2117		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (LACS掲示板, eメール等)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	この授業は「データによって現象を理解する」ために必要な、データを収集、整理、表現、分析する際の基本的な心構えと知識、技能を身につけることを目的とする自由選択科目です。なお取り扱うデータは主として社会科学領域のものとしします。		
授業到達目標/Goal	データを収集、整理、表現、分析する際の基礎的な知識と技能、データを通して現象を批判的に吟味する基礎的力を身につける。		
授業方法 (学習指導法) /Method	講義と演習で授業を進めます。演習では資料収集、データの整理と表現、簡単な分析等を行います。 授業に関する連絡、資料配布、課題提出等にLACSを積極的に利用します。 受講者数次第でグループ活動を取り入れる可能性があります。 学習とビックごとに課題を出します。 統計分析ソフトJMPを利用します。JMPの基本的な操作法は授業中に説明します。		
授業内容/Class outline/Con	次の項目について講義・演習を行う予定です。 ・データに基づく主張いろいろ ・データの集め方さまざま ・データの整理と表現 ・データを読む ・データをさらに読む ・データから推測する ・データに基づいて主張する ・(モデルに基づくデータの分析)		
キーワード/Key word	データ データ収集 データ整理 データ表現 データ分析		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	適宜資料等を配布します。テキストは指定しません。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	主として課題、その他小テスト、授業への積極的関与の程度などによって総合的に評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	以下の2冊を読んでいること。 ・統計でウソをつく法, ダレル・ハフ (高木秀玄訳), 講談社ブルーバックス, 880円 (税別) ・疑似科学入門, 池内了, 岩波新書, 700円 (税別)		
アクセシビリティ /Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)	本科目の内容は以下の「統計学の教育課程編成上の参照基準」を参考にしています。2ページ, 3ページをあらかじめ読んでおいてください。 http://jfsa.jp/ReferenceStandard2.pdf		
学生へのメッセージ/Message for students	授業ではパソコンを利用します。マイクロソフト製品等オフィスソフトを不自由なく操作できることを前提としています。授業時間中のサポートは原則として行いません。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588006801	科目番号 / Subject code	05880068
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	社会文化観光論 / On the Social Cultural Tourism		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	王 維 / Wan Uei		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	王 維 / Wan Uei		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	王維 wangw@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化社会学部1号棟 王研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2913		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時。ただしメールでのアポイントメントが必要		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	現代社会では「観光と文化」の重要性がますます高まっており、観光と社会と文化の関係を同時に 研究の射程に収める必要がある。本授業では、現代社会の観光状況を理解する上で学習が必要とさ れる社会学及び人類学などの理論を整理し、観光が社会、文化、人間と絡みあう現実の全体を見渡 しながら、それに関する研究の展望や動向などを紹介する。		
授業到達目標/Goal	1. 社会文化観光に関する基本的な考え方を知る。 2. 観光に関する諸文化に関する基本的な項目を理解し、説明できる。 3. 様々な観光形態に関する理解を深め、視野を広げると共に自らの進路選択への意識を高める。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業は主に講義、映像、筆記によって行われるが、場合によって受講者の発表も求められる。授業 ではリアクションペーパーの提出も求められる。		
授業内容/Class outline/Con	第1回．序説 社会、観光そして文化 第2回．社会文化観光の課題 第3～4回．観光理論：「観光経験」論、「観光の眼差し」論、「擬似イベント」論、「真正性」論 、「ホスト/ゲスト」論・「ポストツーリズム」論・「新植民地主義」論 第5～7回 観光と文化をめぐる動態及び観光のフィールドワーク 第8～9回 観光が与える影響と民族誌：エスニック観光、メディアと観光、現代の「巡礼」とテ マパーク観光 第10～12回．観光によって作り出された社会と文化：地域文化の再生と観光、観光開発と経営 第13～14回．新しい観光の諸相：持続可能性と観光・健康と観光、歴史遺産とア ート 食ツーリ		
キーワード/Key word	消費社会、観光、文化再構築、フィールドワーク、観光メディア、エスニック観光、地域、観光の まなざし、観光のまちづくり		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『観光社会学 ツーリズム研究の冒険的試み』須藤廣他、明石書店、2005年 『観光と文化 - 旅の民族誌』(" Culture on Tour " Edward M. Bruner 2005) 安村克己他訳 、2007年 『観光学へのアプローチ』香川大学経済学部ツーリズム研究会、2009 その他、随時に紹介する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席、ショットレポート・期末レポート40%、成績60%で評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/10/05 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588006901	科目番号 / Subject code	05880069
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	東アジアの国際関係 / International Relations in East Asia		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	森川 裕二 / Morikawa Yuji		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	morikay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	多文化社会学部 1号館 (1階棟)		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日 10:30 ~ 12:00		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日本の外交は、「東アジア」とどのような関わりをもってきたのか。これからの世界とアジア、日本を考えるうえで必要な基礎知識を学びます。日中関係や日韓関係など「東アジア」の平和について、目先の情報に流されずに考える力を養います。		
授業到達目標 / Goal	日本とアジアの結びつきを歴史的に説明できるようにする。現在の東アジアの協力関係だけでなく、この地域で発生している領土問題や歴史認識問題について正確に理解するための、政治的な背景を知識として身に着ける。		
授業方法(学習指導法) / Method	基本的には講義形式の授業を進めるが、映像資料を鑑賞するなど受講者の討論の時間を用意する。		
授業内容 / Class outline / Con	東アジアと日本の歩みを歴史的に理解し、東アジアの現在の課題と将来について政治学な視点からとらえる		
キーワード / Key word	国際政治、東アジア、冷戦、戦後国際秩序		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書：指定しない。各回の授業資料・参考資料はLACSにより配布。 参考書：下斗米 伸夫(著)『アジア冷戦史』中央公論新社、2004年。ハウ C・S(著)、白石 隆(編)『中国は東アジアをどう変えるか』中央公論新社、2012年。細谷 雄一(著)『国際秩序 - 18世紀ヨーロッパから21世紀アジアへ』中央公論新社、2012年。毛里和子(編集代表)『東アジア共同体の構築』全4巻、岩波書店、2006~2007年。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	試験60%、レポート(3回)30%、討論への積極的な参加・貢献度10%から総合的に判断し成績評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	TV、新聞のアジアについての国際報道は、チェックしておくこと。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 電話 095-819-2006 FAX 095-819-2948 email supporot@ml.nagasaki-.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	細かな事象を暗記するような勉強はこの授業では不要です。アジアと国際政治を見る目を意識して養う。そのきっかけにしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方 イントロダクション: 「アジア」、「東アジア」とはなにが		
第2回	東アジアの伝統的秩序		
第3回	東アジア伝統的秩序の解体		
第4回	第一次大戦と平和秩序		
第5回	第二次大戦とアジア主義: 世界史の哲学		
第6回	第二次大戦後の国際秩序とアジア		
第7回	アジアの冷戦		
第8回	アジアの冷戦		
第9回	冷戦体制崩壊後の東アジア 米中接近		

第10回	冷戦体制崩壊後の東アジア 日米同盟の再定義
第11回	戦後国際秩序のゆらぎ 大国中国と国際関係
第12回	戦後国際秩序のゆらぎ 日本の安全保障
第13回	現代アジアのリージョナリズム：ASEAN地域主義の深化と拡大
第14回	現代アジアのナショナリズム：歴史認識問題
第15回	まとめ 東アジアの将来
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588007001	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生物の科学～動物の行動分析と推計学～ / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。		
授業到達目標/Goal	動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力)		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を深めながら進めます。小グループによる短時間のディスカッションも担保し、随時、小レポートを課します。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	動物の行動の基本事項、動物モデル、行動機能試験、医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し、行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び、動物行動科学の裏づけを学ぶ。 第16回目: 定期試験を行う。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(50%)、随時行う講義中の小テスト、レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義		
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル		
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス		
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ		
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析		
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存		

第7回	動物の行動機能試験（6） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験（7） 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法 1
第12回	動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法 2
第13回	動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法 3
第14回	動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/10/05 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588007002	科目番号 / Subject code	05880070
科目ナンバリングコード / Numbering Code			
授業科目名 / Subject	生物の科学～動物の行動分析と推計学～ / Biological Sciences		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
科目分類 / Class type	自由選択科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jpまたはshabshab@q.vodafone.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	ヒトは、物言わぬ動物の行動や反応を通じてコミュニケーションを図り、有用な薬物の開発や危険性の予知など多様な情報を獲得してきた。動物の行動科学を基盤に、ヒトが生きていく上で必要な健康や病気の治療に用いられる医薬品の開発について学び、動物行動科学の応用性と薬物の有用性、有害性について一般教養レベルで理解する。		
授業到達目標/Goal	動物の行動や動物実験から何がわかるか説明できる(基盤的知識, 自主的探求) 薬物の適正使用や乱用薬物の有害性について理解する(基盤的知識, 批判的思考) 動物の行動分析を通じて、薬の開発への経緯を理解する(基盤的知識, 多様性の意義) 動物の行動からヒトの社会科学への展開を説明できる(自主的探求, 自己表現力, 多様性の意義) 動物実験データの基本的な推計学的分析ができ、信頼性について理解し、説明できるようになる(基盤的知識, 自己表現力)		
授業方法(学習指導法)/Method	基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。小グループによる短時間のディスカッションも担保し、随時、小レポートを課します。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。		
授業内容/Class outline/Con	動物の行動の基本事項、動物モデル、行動機能試験、医薬品の適正使用と薬物乱用など多様な行動機能を学習し、行動分析の意義を理解する。動物実験とデータ処理について学び、動物行動科学の裏づけを学ぶ。 第16回目: 定期試験を行う。		
キーワード/Key word	動物行動科学 動物モデル 乱用薬物 行動分析 行動毒性 推計学		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	定期試験(50%)、随時行う講義中の小テスト、レポート(30%)および授業への積極的な参加・貢献度(20%)から総合的に判断して成績評価を行う。		
受講要件(履修条件)/Requirements	原則として全回出席することを単位認定の要件とする。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	一般教養レベルとして医薬品開発のための動物実験や動物の行動分析を学び、今後の学習への志向、態度を涵養する。		
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方 動物の行動(1) 本能行動、動物実験とその意義		
第2回	動物の行動機能試験(1) 情動系 動物の向精神作用とその動物モデル		
第3回	動物の行動機能試験(2) 情動系 動物と不安、ストレス		
第4回	動物の行動機能試験(3) 報償系 動物が教える薬物乱用の怖さ		
第5回	動物の行動機能試験(4) 報償系 薬物依存に関する行動分析		
第6回	動物の行動機能試験(5) 生体防御系 医薬品の適正使用と薬物依存		

第7回	動物の行動機能試験（6） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験法
第8回	動物の行動機能試験（7） 学習・記憶系 抗健忘薬・向知性薬
第9回	動物の行動機能試験（8） 学習・記憶系 学習・記憶機能試験の分析法
第10回	動物の行動機能試験（9） 動物の行動毒性から学ぶこと
第11回	動物実験とデータ処理（1） 動物実験で使用される基本的検定法1
第12回	動物実験とデータ処理（2） 動物実験で使用される基本的検定法2
第13回	動物実験とデータ処理（3） 動物実験で使用される基本的検定法3
第14回	動物実験とデータ処理（4） メンデルの実験データを考える
第15回	全授業の総括
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588010001	科目番号 / Subject code	05880100
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11411_001		
授業科目名 / Subject	平成長崎塾 / Nagasaki and Its Culture Historical Perspectives		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 正克 / Takahashi Masakatsu, 田中 隆 / Tanaka Takashi, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takahasi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	090-1343-1361		
担当教員オフィスアワー/Office hours	事前にメール、電話等でアポイントをとってください。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>笠を負って長崎に游学する...長崎は昔から町全体が大学だった、ともいわれています。ならば長崎に游学した勝海舟、坂本龍馬、高杉晋作、福澤諭吉は長大OBといって自慢していい。こんな由緒ある長崎大学あるいは長崎の歴史は？文化は？産業は？地域が誇るものは？原爆被災や復興は？...この講義では、そのルーツから現在までの長崎大学の歴史と、そしてこの長崎大学を育み、かつ大学とともに歩んできた長崎の街やを多面的な切り口から学び知ることによって、長崎大学で学び、長崎の街で学生生活を送る諸君が、本学や長崎を誇りに思い(愛校精神)、将来、地域の活性化や社会貢献の意欲を持ってもらいます。また、多面的なものの見方、考え方があることを知り、長崎のより深い知識、理解を進展させる学習意欲を身につけてもらうこともねらいとします。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、文学、産業の概要が説明できるようになることです。多面的なものの見方、考え方があることを理解することです。歴史、文化、文学、産業の長崎独自性について意見を展開できることを目指します。長崎のより深い知識、理解を進展させる学習意欲を身に付けることです。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>基本的に講義形式で行いますが、できるだけ口頭による質疑応答を取り入れ理解度を探りながら進めます。必要に応じて、ハンドアウトを配布します。また、パワーポイントなども利用して理解を進めます。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化、外交、文学、地域の特性などについて、それぞれ専門の担当教員・講師が、ユニーク、かつ多面的な切り口で講義します。</p>		
キーワード/Key word	<p>長崎大学 長崎 長崎学 シーボルト ポンペ 歴史 文化 産業 世界遺産 外交 原爆被害 軍事基地</p>		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書は用いない。適宜、ハンドアウトを配布します。</p>		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	<p>毎回の積極的な授業への出席を前提に、提出するレポートで評価します(100%)。</p>		
受講要件(履修条件)/Requirements	<p>原則として全回出席し、レポートを提出することを単位認定の要件とします。</p>		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)	<p>平成28年度から開講される必修科目「長崎地域学」にも広く連携しており、多面的に長崎のことを深く学べる科目です。</p>		
学生へのメッセージ/Message for students	<p>長崎大学や長崎の歴史、文化など多面的に知り、長崎大学生であることを誇りに思い、長崎の街に興味を持って学びに潤いのある学生生活を送ることです。本科目を履修し、長崎学により深い興味を持ち、長崎検定などに合格することも、学習意欲を身に付けることにつながります。</p>		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	科目の趣旨説明、講義概要、講義の進め方、長崎大学の現況(高橋)		
第2回	1) フォン・シーボルトと鳴滝塾(相川)		
第3回	2) 海軍伝習と日本の近代化(相川)		
第4回	3) ポンペ・ファン・メールデルフォールトの医学伝習(相川)		
第5回	1) 長崎ことはじめ、長崎が誇る世界遺産1(高橋)		
第6回	2) 長崎が誇る世界遺産2、長崎の歴史を築いた人々(高橋)		

第7回	1) 長崎とお茶 ~ 古から現代まで~ (太田)
第8回	1) 長崎原爆被害の実相 (冨塚)
第9回	2) 米戦略と長崎県の軍事基地 (冨塚)
第10回	1) シーボルトが使ったくすり~19世紀長崎での薬の輸入と革新 (田中)
第11回	3) 壱岐の島~一支國から始まるロマンと苦難の歴史 (高橋)
第12回	4) 長崎の歴史散策紹介(1) (高橋)
第13回	5) 長崎の歴史散策紹介(2) (高橋)
第14回	6) 長崎文学の旅, 長崎事件簿 (高橋)
第15回	7) 長崎検定・長崎通への誘い, まとめ (高橋)
第16回	

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588010201	科目番号 / Subject code	05880102
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13111_003		
授業科目名 / Subject	疑似科学とのつき合い方 / Critical Thinking on Pseudo - Science and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	武藤 浩二 / Cosy MUTO		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	武藤 浩二 / Cosy MUTO, 福山 隆雄 / Takao Fukuyama, 小西 祐馬 / Konishi Yuuma, 山岸 賢一郎 / Kenichiro Yamagishi		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	cosy (at) nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部 美術技術教室棟 2F 206		
担当教員TEL/Tel	2361		
担当教員オフィスアワー / Office hours	随時		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	現代社会に蔓延する各種の疑似科学について学び、それらがなぜ疑似科学と呼ばれるのかを理解することによって、科学的なものの見方を獲得する。 さらに科学の「限界」を把握し、科学と価値の関係の理解を通じて、自律的に生きるための基礎力を養う。		
授業到達目標 / Goal	科学的なものの見方を獲得する。 疑似科学かどうかを判断するための方策を考えることができるようになる。 科学と価値の関係について考察できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	黒板への番書やスライド, ビデオを用いた講義と, 担当教員と受講生による討論を行う。 講義資料や課題用紙はLACSや教員のWEBページを通じて配布する。		
授業内容 / Class outline / Con	講義内容は多岐にわたる。 各回毎に主担当となる教員と他の教員がテーマに基づいて講義を行う。 なお各回の講義予定は, 教員の出張等の都合で変更になる場合がある。		
キーワード / Key word	科学, 疑似科学, 前科学, 認識論, 感性, 大学偽装, 社会調査, 教育		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	資料: 長崎大学教育学部「疑似科学とのつきあいかた」研究会編『疑似科学とのつきあいかた: 教師を目指す皆さんへ』 http://hdl.handle.net/10069/23093 参考書: 菊池聡『なぜ疑似科学を信じるのか』(化学同人), 菊池誠 et.al.『もうだまされないための「科学」講義』(光文社新書), 安育育郎『科学と非科学との間』(かもがわ出版), 伊勢田哲治『疑似科学と科学の哲学』(名古屋大学出版会), 池内了『疑似科学入門』(岩波新書), 菊池聡 et.al.『不思議現象 なぜ信じるのか』(北大路書房), 伊勢田哲治 et.al.『科学技術をよく考えるクリティカルシンキング練習帳』(名古屋大学出版会), ジュリアン・バジーニ『100の思考実験』(紀伊國屋書店), 南郷継正『弁証法・認識論への道』(三一書房), 等		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	講義テーマへの積極的な取り組みを重視する立場から, 最終課題レポート(50%), 討論を含む講義への貢献度および各教員が課す「小レポート」の成績(50%)で総合的に評価する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	講義情報についてはLACSを参照のこと		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	血液型と性格		
第3回	マイナスイオンとゲルマニウム		
第4回	水からの伝言		

第5回	都市伝説
第6回	代替医療
第7回	リアルとバーチャルの狭間
第8回	全体討論会 #1
第9回	ケーススタディ
第10回	学位商法
第11回	社会調査のリテラシー：統計データとの正しい接し方
第12回	乳幼児の教育
第13回	『昔はよかった』を考える
第14回	信じること／疑うことを考える
第15回	全体討論会 #2

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015001	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則と		
授業到達目標 / Goal	物理の基礎である力学分野において, まず基礎概念を理解する。物体の運動を運動方程式や力学的エネルギー保存の法則を現象に適用する力を養う。また熱や電気・磁気分野においても, 諸法則とともに成り立つエネルギー保存の法則を現象解明に適用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義及び演習。学習内容はプリントにて配付		
授業内容 / Class outline/Con	力学 熱 及び 電気・磁気の一部の分野		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2016 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株)博洋社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	・質問は授業日 (水曜) の14:30 ~ 非常勤講師控室にでも受けます。また講義後にも受け付けます。質問用紙も準備しますので, 必要事項を記入し提出してください。 ・学習事項の問題演習に積極的に取り組み, 不明なところは質問等したりして, 理解するよう勤める。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度 (平均の速度・瞬間の速度)		
第2回	速度の合成と相対運動, 加速度 (平均の加速度・瞬間の加速度)		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動 (自由落下・鉛直投射・水平投射・斜法投射)		
第5回	さまざまな力, 力の合成・分解とつり合い, 作用反作用の法則		
第6回	慣性の法則, 運動の法則, 運動方程式		
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力		
第8回	圧力・浮力		
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率		
第10回	運動エネルギー, 運動エネルギーの変化と仕事, 位置エネルギー		

第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度, 熱量の保存
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗, 抵抗の接続, 電気とエネルギー
第15回	電流と磁場
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015002	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則と		
授業到達目標 / Goal	物理の基礎である力学分野において, まず基礎概念を理解する。物体の運動を運動方程式や力学的 エネルギー保存の法則を現象に適用する力を養う。また熱や電気・磁気分野においても, 諸法則と ともに成り立つエネルギー保存の法則を現象解明に適用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義及び演習。学習内容はプリントにて配付		
授業内容 / Class outline / Con	力学 熱 及び 電気・磁気の一部の分野		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2016 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株)博洋社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート+授業取り組みへの意欲・態度 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	・質問は授業日 (水曜) の14:30 ~ 非常勤講師控室にでも受けます。また講義後にも受け付けます。質問用紙も準備しますので, 必要事項を記入し提出してください。 ・学習事項の問題演習に積極的に取り組み, 不明なところは質問等したりして, 理解するよう勤める。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度 (平均の速度・瞬間の速度)		
第2回	速度の合成と相対運動, 加速度 (平均の加速度・瞬間の加速度)		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動 (自由落下・鉛直投射・水平投射・斜法投射)		
第5回	さまざまな力, 力の合成・分解とつり合い, 作用反作用の法則		
第6回	慣性の法則, 運動の法則, 運動方程式		
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力		
第8回	圧力・浮力		
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率		
第10回	運動エネルギー, 運動エネルギーの変化と仕事, 位置エネルギー		

第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度, 熱量の保存
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗, 抵抗の接続, 電気とエネルギー
第15回	電流と磁場
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015003	科目番号 / Subject code	05880150
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13161_003		
授業科目名 / Subject	基礎物理 / Basic Physics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	原 義明 / Hara Yoshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	原 義明 / Hara Yoshiaki		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	1年次		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Laboratory	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	090-7537-5434		
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	物体の運動, 熱, 電気・磁気などの諸現象が, "力" や "エネルギー" 等の概念を用いて記述でき, 法則と		
授業到達目標 / Goal	物理の基礎である力学分野において, まず基礎概念を理解する。物体の運動を運動方程式や力学的 エネルギー保存の法則を現象に適用する力を養う。また熱や電気・磁気分野においても, 諸法則と ともに成り立つエネルギー保存の法則を現象解明に適用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	講義及び演習。学習内容はプリントにて配付		
授業内容 / Class outline / Con	力学 熱 及び 電気・磁気の一部の分野		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	物理基礎研究ノート2016 編集 九州高等学校理科教育研究会 発行 (株)博洋社		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験 60% 小テスト 20% (授業時に実施), 課題レポート + 授業取り組みへの意欲・態度 20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	・質問は授業日 (水曜) の14:30 ~ 非常勤講師控室にても受けます。また講義後にも受け付けます。質問用紙も準備しますので, 必要事項を記入し提出してください。 ・学習事項の問題演習に積極的に取り組み, 不明なところは質問等したりして, 理解するよう勤める。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	速さと等速直線運動, 速度 (平均の速度・瞬間の速度)		
第2回	速度の合成と相対運動, 加速度 (平均の加速度・瞬間の加速度)		
第3回	等加速度直線運動		
第4回	落下運動 (自由落下・鉛直投射・水平投射・斜法投射)		
第5回	さまざまな力, 力の合成・分解とつり合い, 作用反作用の法則		
第6回	慣性の法則, 運動の法則, 運動方程式		
第7回	運動方程式の応用, 摩擦力		
第8回	圧力・浮力		
第9回	仕事・仕事の原理・仕事率		
第10回	運動エネルギー, 運動エネルギーの変化と仕事, 位置エネルギー		

第11回	力学的エネルギーの保存
第12回	熱と温度, 熱量の保存
第13回	熱と仕事, 熱機関と熱効率
第14回	電流と電気抵抗, 抵抗の接続, 電気とエネルギー
第15回	電流と磁場
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015101	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13211_003		
授業科目名 / Subject	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Goal	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連の分野で活用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努める必要があります。		
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成		
第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表		
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子		
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属 (6)化学結合のまとめ・結晶		
第5回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量		
第6回	(2)物質量 (3)化学反応式		
第7回	(4)化学反応式と物質量		
第8回	(5)演習		
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基		
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH		

第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(2)酸化還元反応 (3)金属の酸化還元反応
第15回	(4)演習 (5)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015102	科目番号 / Subject code	05880151
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13211_003		
授業科目名 / Subject	基礎化学 / Basic Chemistry		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	筒井 保之 / Yasuyuki Tsutsui		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yasuyasu851@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室にて水曜日 15:30以降・要確認		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校で「化学基礎」を履修していない学生を対象に、高等学校「化学基礎」の範囲の基礎的基本的内容を学習します。		
授業到達目標/Goal	高等学校「化学基礎」で履修する範囲の基礎的基本的な学習内容について理解し、学習内容を関連の分野で活用できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	授業形式で行いますが、一部演習の時間を入れる予定です。指定したテキスト等をもとに、受講者自ら基礎的基本的内容を学習するとともに、発展的な学習にも努めてもらいます。		
授業内容/Class outline/Con	高等学校「化学基礎」をテキストとして使用し、その基礎的基本的事項に関して解説を中心に授業を進めます。学習内容の確認定着が特に必要な内容について、一部演習の時間を設定します。また、小テストの実施と課題を出しその提出を求めることがあります。ただし、時間的な制約もあるため、受講者自らでテキストを予習復習し、学習内容の定着と学習に関連した問題演習に努める必要があります。		
キーワード/Key word	基礎化学 化学基礎		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	数研出版 「化学基礎」 (大学生協で販売しています)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	成績評価は、定期試験60%、授業中に実施する小テストおよび提出課題の評価40%で行います。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	化学の基礎基本を学習します。関連の項目について積極的な演習をおこないきましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	オリエンテーション 1 物質の構成		
第2回	2 物質の構成粒子 原子とその構造、電子配置、イオン、周期表		
第3回	3 粒子の結合 (1)イオン結合とイオンからなる物質、(2)共有結合と分子		
第4回	(3)分子の極性と分子間力、(4)共有結合の物質、(5)金属結合と金属 (6)化学結合のまとめ・結晶		
第5回	4 物質と化学反応式 (1)原子量、分子量、式量		
第6回	(2)物質量 (3)化学反応式		
第7回	(4)化学反応式と物質量		
第8回	(5)演習		
第9回	5 酸と塩基 (1)酸・塩基		
第10回	(2)水の電離と水溶液のpH		

第11回	(3)中和反応
第12回	(4)塩の分類と液性 (5)演習
第13回	6 酸化還元反応 (1)酸化と還元 (2)酸化剤と還元剤
第14回	(3)酸化還元反応 (4)金属の酸化還元反応
第15回	(5)演習 (6)酸化還元反応の利用
第16回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015201	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 14111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー / Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標 / Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法(学習指導法) / Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをとっていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容 / Class outline / Con	講義形式とする。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
受講要件(履修条件) / Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現		
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固		

第10回	第三章 生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節（・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節）
第11回	第三章 生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節（腎臓の働き）
第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム バイオームの形成過程 バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階） 物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環） 生態系のバランスと保全 自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015202	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 14111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをとっていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現		
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固		

第10回	第三章 生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節（・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節）
第11回	第三章 生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節（腎臓の働き）
第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム バイオームの形成過程 バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階） 物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環） 生態系のバランスと保全 自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015203	科目番号 / Subject code	05880152
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 14111_004		
授業科目名 / Subject	基礎生物 / Basic Biology		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	平倉 充 / Mitsuru Hirakura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟42 / RoomA-42		
対象学生 (クラス等) / Object Student	教育、医、歯、薬、環境科学部の1年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	heykura10@yahoo.co.jp		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel	095-800-6622		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにて質問や要望を受け付ける。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高等学校において生物基礎を履修していない者、歯学部の場合はセンター試験において生物を利用 していない者に対して、高校の教科書を用いて講義を行う。		
授業到達目標/Goal	教科書「高等学校生物基礎」の内容を理解する。		
授業方法 (学習指導法) /Method	毎回、講義内容のプリントを準備する。教科書を用いて講義する。ポイントをプリントにメモをと っていく。15回で教科書の内容をまとめたノートが完成する。毎回、確認のための小テストを行 いそれが平常点となる。期末考査の得点と合わせて、100点満点で評価する。		
授業内容/Class outline/Con	講義形式とする。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	高等学校「生物基礎」(第一学習社)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	15回の講義の終わり10分間で確認の小テストを実施する。各3点満点としその合計45点を平 常点とする。期末考査の得点を55点に換算して平常点の45点を加えて100点として評価する 。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	教育学部、医学部、薬学部、環境科学部の1年生で高等学校において生物基礎を履修していない者 、あるいは歯学部1年生でセンター試験において生物を利用していない者。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高校の教科書「生物基礎」に目を通し、常識的内容を理解し大学での専門的な生物関係の教科・科 目を学んでいく手がかり・足がかりとする。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	第一章 生物の特徴 生物の多様性 生物の共通性と多様性の起源 生物の特性 細胞の多様性		
第2回	第一章 生物の特徴 細胞の構造にみられる共通性 代謝とATP ATPの構造と働き		
第3回	第一章 生物の特徴 葉緑体も構造と色素 光エネルギーの吸収 光合成の過程		
第4回	第一章 生物の特徴 ミトコンドリアと細胞質基質 呼吸の過程		
第5回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体 DNAの構造		
第6回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝情報の複製と分配(・細胞周期・遺伝情報の複製・遺伝情報の分配)		
第7回	第二章 遺伝子とその働き タンパク質 転写と翻訳 タンパク質の合成		
第8回	第二章 遺伝子とその働き 遺伝子とゲノム 細胞内での遺伝子の発現		
第9回	第三章 生物の体内環境 恒常性とは 体液の種類 血液の成分と働き 酸素の運搬 血液凝固		

第10回	第三章 生物の体内環境 肝臓の働き 体液の濃度調節（・浸透圧の調節・単細胞生物の調節・無脊椎動物の調節）
第11回	第三章 生物の体内環境 魚類にみられる体液の調節 ほ乳動物にみられる体液の調節（腎臓の働き）
第12回	第三章 生物の体内環境 免疫（・体液性免疫・細胞性免疫・アレルギー・予防接種と血清療法）
第13回	第三章 生物の体内環境 自律神経系と内分泌系（・ホルモンによる調節・自律神経による調節・共同調節）
第14回	第四章 バイオームの多様性と分布 生物の多様性とバイオーム バイオームの形成過程 バイオームとその分布
第15回	第五章 生態系とその保全 生態系の成り立ち（食物連鎖と栄養段階） 物質循環とエネルギーの流れ（炭素、窒素の循環） 生態系のバランスと保全 自然環境の保全
第16回	期末考査【50分間、5問】 5問については、講義最終回の折に出題分野を提示する。

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1ク ォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015301	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生(クラス等) / Object Student	本講座の「基礎数学Q1」は主として大学入学前教育(数学講座)を受講した者を対象とします。それ以外は、「基礎数学Q2もしくはQ3」を受講してください。		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校学校で学ぶ微積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Goal	高等学校で身につけておくべき微積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数(三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深めさせる。		
授業方法(学習指導法)/Method	微積分の基礎力の定着を図るため、演習を中心とした授業形態をとる。		
授業内容/Class outline/Con	大学前教育で取り扱った「微積分演習ノート」の重要問題を中心に取り上げ、詳しく解説するとともに、基礎力の定着を図るため毎回、小テスト(確認テスト)を行う。		
キーワード/Key word	微積分の基礎力を身につける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	入学前教育で使用した「微積分ノート」を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	当講座は、基本的に入学前教育の継続で開講しますが、それ以外の人を拒むものではありません。希望者がいれば、テキストを配布しますので事前に連絡ください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	1. 平均値の定理 ~ 6. 3次関数の極値		
第2回	7. 3次関数のグラフ ~ 9. 方程式とグラフ		
第3回	10. 不定積分 ~ 13. 定積分と微分		
第4回	14. 図形の面積 ~ 17. $(ax + b)$ の累乗の積分		
第5回	18. 微分可能 ~ 22. 指数関数の導関数		
第6回	23. 陰関数の導関数 ~ 25. 様々な関数の導関数		
第7回	26. 曲線の接線 ~ 29. 平均値の定理		
第8回	30. 4次関数の増減 ~ 34. 分数関数		
第9回	35. 2次導関数と極値 ~ 40. 不定積分(置換積分)		
第10回	41. 不定積分(部分積分) ~ 43. 定積分		

第 1 1 回	4 4 . 定積分 (置換積分) ~ 4 7 . 定積分 (置換積分)
第 1 2 回	4 8 . 定積分 (部分積分) ~ 5 1 . 図形の面積
第 1 3 回	5 2 . 立体の体積 ~ 5 5 . 曲線の長さ
第 1 4 回	三角関数の逆関数
第 1 5 回	双曲線関数
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015302	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日(13:00~17:00) 火曜日(13:00~17:00) 木曜日(13:00~17:00)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校学校で学ぶ微分積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標/Goal	高等学校で身に付けておくべき微分積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数 (三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深めさせる。		
授業方法(学習指導法)/Method	微分積分の基礎力の定着を図るため、演習を中心とした授業形態をとる。		
授業内容/Class outline/Con	開講時に配布する「微分積分演習ノート」の重要問題を中心に取り上げ、詳しく解説するとともに、 微分積分の基礎力の定着を図るため毎回、小テスト(確認テスト)を行う。		
キーワード/Key word	微分積分の基礎力を身に着ける。		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	開講時に配布する「微分積分ノート」を使用する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	高等学校で学ぶ微分積分の分野(数学と数学)の総復習と大学で学ぶ微分積分学のつなぎを学びます。意欲のある人の受講を望みます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	1. 平均値の定理 ~ 6. 3次関数の極値		
第2回	7. 3次関数のグラフ ~ 9. 方程式とグラフ		
第3回	10. 不定積分 ~ 13. 定積分と微分		
第4回	14. 図形の面積 ~ 17. $(ax + b)$ の累乗の積分		
第5回	18. 微分可能 ~ 22. 指数関数の導関数		
第6回	23. 陰関数の導関数 ~ 25. 様々な関数の導関数		
第7回	26. 曲線の接線 ~ 29. 平均値の定理		
第8回	30. 4次関数の増減 ~ 34. 分数関数		
第9回	35. 2次導関数と極値 ~ 40. 不定積分(置換積分)		
第10回	41. 不定積分(部分積分) ~ 43. 定積分		

第 1 1 回	4 4 . 定積分 (置換積分) ~ 4 7 . 定積分 (置換積分)
第 1 2 回	4 8 . 定積分 (部分積分) ~ 5 1 . 図形の面積
第 1 3 回	5 2 . 立体の体積 ~ 5 5 . 曲線の長さ
第 1 4 回	三角関数の逆関数
第 1 5 回	双曲線関数
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3ク ォーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015303	科目番号 / Subject code	05880153
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 13261_003		
授業科目名 / Subject	基礎数学 / Basic Mathematics		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 幸久 / Nakagawa Yukihisa		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟14 / RoomA-14		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学年		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	y-nakagawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	教育棟新館「251号室」		
担当教員TEL/Tel	研究室095-819-2090		
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日(13:00 ~ 17:00) 火曜日(13:00 ~ 17:00) 木曜日(13:00 ~ 17:00)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	高校学校で学ぶ微積分の分野の基礎を固め、大学の学修への連携を図る。		
授業到達目標 / Goal	高等学校で身に付けておくべき微積分の知識や活用力の定着を図る。また、大学で学ぶ初等関数 (三角関数の逆関数や双曲線関数)の理解を深めさせる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	微積分の基礎力の定着を図るため、演習を中心とした授業形態をとる。		
授業内容 / Class outline / Con	開講時に配布する「微積分演習ノート」の重要問題を中心に取り上げ、詳しく解説するとともに、 微積分の基礎力の定着を図るため毎回、小テスト(確認テスト)を行う。		
キーワード / Key word	微積分の基礎力を身に着ける。		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	開講時に配布する「微積分ノート」を使用する。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	小テスト(確認テスト)、定期試験、授業への意欲・興味・関心など総合的に判断する。		
受講要件 (履修条件) / Requirements	15回の講義に毎回、出席すること。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障害の除去及び合理的配慮の徹底に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL)095-819-2006 (FAX)095-819-29448 (E-MALL)support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	高等学校で学ぶ微積分の分野(数学と数学)の総復習と大学で学ぶ微積分学のつなぎを学びます。意欲のある人の受講を望みます。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	1. 平均値の定理 ~ 6. 3次関数の極値		
第2回	7. 3次関数のグラフ ~ 9. 方程式とグラフ		
第3回	10. 不定積分 ~ 13. 定積分と微分		
第4回	14. 図形の面積 ~ 17. $(ax + b)$ の累乗の積分		
第5回	18. 微分可能 ~ 22. 指数関数の導関数		
第6回	23. 陰関数の導関数 ~ 25. 様々な関数の導関数		
第7回	26. 曲線の接線 ~ 29. 平均値の定理		
第8回	30. 4次関数の増減 ~ 34. 分数関数		
第9回	35. 2次導関数と極値 ~ 40. 不定積分(置換積分)		
第10回	41. 不定積分(部分積分) ~ 43. 定積分		

第 1 1 回	4 4 . 定積分 (置換積分) ~ 4 7 . 定積分 (置換積分)
第 1 2 回	4 8 . 定積分 (部分積分) ~ 5 1 . 図形の面積
第 1 3 回	5 2 . 立体の体積 ~ 5 5 . 曲線の長さ
第 1 4 回	三角関数の逆関数
第 1 5 回	双曲線関数
第 1 6 回	定期試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015401	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<p>高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡しとすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。</p>		
授業到達目標/Goal	<p>(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。</p> <p>(2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を精読し、内容を理解できるようになる。</p> <p>(3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話し手の意図を理解できるようになる。</p>		
授業方法(学習指導法)/Method	<p>演習および講義形式とする。</p> <p>(1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材等を毎時配付し、熟語、語法、基本文法を確認し、その運用力と応用力を身につける。</p> <p>(2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情報を把握する力を習得する。</p> <p>(3) 前時既習の基本事項について小テストを行い定着を図る。</p>		
授業内容/Class outline/Con	<p>(1) 授業の最初に前時学習内容の各認のため小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度をみるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。</p> <p>(2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を図る。</p> <p>(3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把握の方法を習得する。</p> <p>使用教材：英語構文問題集 基本構文・文法プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用</p>		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文(2週間完成)(日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える(小テストを含む) 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行できるように工夫・構成します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト (前時学習内容確認テスト) - 以下各回同様 - プリント教材(パラグラフの基本的な構造)
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト Paragraph-1 (プリント) 演習 - 以
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト Paragraph-2 (プリント)
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト Paragraph-3 (プリント)
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト Paragraph-4 (プリント)
第7回	(7) 比較構文 小テスト Paragraph-5 (プリント)
第8回	中間試験 (第1回~6回の学習内容から出題する)
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト Paragraph-6 (プリント)
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト Paragraph-7 (プリント)
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト Paragraph-8 (プリント)
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト Paragraph-9 (プリント)
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト Paragraph-10 (プリント)
第14回	(14) 否定構文 小テスト Paragraph-11 (プリ
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト Paragraph-12 (プリント)
第16回	定期試験 (中間試験以降~15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2ク ォーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015402	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡し とすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙 力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基 礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を 精読し、内容を理解できるようになる。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話 し手の意図を理解できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	演習および講義形式とする。 (1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材等を毎時配付し、熟語、語法、基本 文法を確認し、その運用力と応用力を身につける。 (2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情 報を把握する力を習得する。 (3) 前時既習の基本事項について小テストを行い定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	(1) 授業の最初に前時学習内容の各認のため小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度を みるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 (2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を 図る。 (3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把 握の方法を習得する。 使用教材： 英語構文問題集 基本構文・文法 プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文 (2週間完成) (日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項 + 長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える (小 テストを含む) 10%		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下 さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習 範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行で きるように工夫・構成します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト (前時学習内容確認テスト) - 以下各回同様 - プリント教材(パラグラフの基本的な構造)
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト Paragraph-1 (プリント) 演習 - 以
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト Paragraph-2 (プリント)
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト Paragraph-3 (プリント)
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト Paragraph-4 (プリント)
第7回	(7) 比較構文 小テスト Paragraph-5 (プリント)
第8回	中間試験 (第1回~6回の学習内容から出題する)
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト Paragraph-6 (プリント)
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト Paragraph-7 (プリント)
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト Paragraph-8 (プリント)
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト Paragraph-9 (プリント)
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト Paragraph-10 (プリント)
第14回	(14) 否定構文 小テスト Paragraph-11 (プリ
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト Paragraph-12 (プリント)
第16回	定期試験 (中間試験以降~15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/12/02 ~ 2017/02/15		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160588015403	科目番号 / Subject code	05880154
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 12811_002		
授業科目名 / Subject	基礎英語 / Basic English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	金子 修司 / Shuuji Kaneko		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	skaneko@mx.b.cncm.ne.jp		
担当教員研究室/Laboratory	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-845-0369		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 15時45分 ~ 16時05分 非常勤講師室		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	高校英語の既習事項に習熟し、大学英語に対応できる基礎力・運用力を養成し大学英語への橋渡し とすることをねらいとする。テキストを使って使用頻度の高い基本構文、熟語、語法、文法、語彙 力を身につける。これらの基礎力に基づき、パラグラフリーディング・精読演習を通して読解の基 礎力養成に努める。また、音読を行い聞き取りの基礎を学ぶ。		
授業到達目標/Goal	(1) 高等学校までの既習の基本構文、語法、文法、熟語、語彙等を習得し運用できるようになる。 (2) 英文の大意把握、評論文の読み方に習熟し、大学英語や専門課程で使用する教科書、資料を 精読し、内容を理解できるようになる。 (3) 強勢、イントネーション、区切りなどの基本的な聞き取りとともに、情報の意味・内容や話 し手の意図を理解できるようになる。		
授業方法(学習指導法)/Method	演習および講義形式とする。 (1) 基本構文習熟のために問題集を使用する。プリント教材等を毎時配付し、熟語、語法、基本 文法を確認し、その運用力と応用力を身につける。 (2) 英文読解のプリント教材を使用し、パラグラフリーディングの基礎を学び、文章の概要と情 報を把握する力を習得する。 (3) 前時既習の基本事項について小テストを行い定着を図る。		
授業内容/Class outline/Con	(1) 授業の最初に前時学習内容の各認のため小テストを行う。出題内容は、基本構文の定着度を みるために和文英訳、整序英作文、空所補充英文完成等。また、熟語、語彙問題も含む。 (2) 英語構文問題集を使って演習を行い、基本的な構文及び、熟語、文法、語彙を確認し定着を 図る。 (3) パラグラフリーディング用プリント教材を使って読解力を身につける。主題に沿った内容把 握の方法を習得する。 使用教材：英語構文問題集 基本構文・文法プリント教材 演習英文プリント：読解力養成 パラグラフリーディングの基礎基本教材プリント 辞書使用		
キーワード/Key word	基本的な構文、文法、語法、熟語、長文の読み方の習熟		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	英語構文(2週間完成)(日英社) (学内書店にて販売) 頻出構文、頻出文法事項+長文プリントを基本的に毎時配付する。 英語辞書を授業時に持参すること。授業用ノートを持参すること。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	(1) 定期考査 60% (2) 中間テスト 30% (3) 授業中活動、課題等を評価に加える(小 テストを含む) 10%		
受講要件(履修条件)/Requirements	全回出席を原則とする。英語辞書、ノートを持参すること。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会 的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業は基本事項の再確認と応用力の養成、併せて高等学校における英語受講時間数の都合で未習 範囲がある場合に対応できるように、丁寧な講義、演習、資料学習とし、大学英語へ円滑に移行で きるように工夫・構成します。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション(授業の進め方について) 英語基礎テスト(Evaluation Test)を実施する。 (1) Itを中心とした構文
第2回	(2) 助動詞を使った構文 小テスト (前時学習内容確認テスト) - 以下各回同様 - プリント教材(パラグラフの基本的な構造)
第3回	(3) 不定詞を使った構文 小テスト Paragraph-1 (プリント) 演習 - 以
第4回	(4) 動名詞を使った構文 小テスト Paragraph-2 (プリント)
第5回	(5) 分詞を使った構文 小テスト Paragraph-3 (プリント)
第6回	(6) 第5文型の構文 小テスト Paragraph-4 (プリント)
第7回	(7) 比較構文 小テスト Paragraph-5 (プリント)
第8回	中間試験 (第1回~6回の学習内容から出題する)
第9回	(9) 時を表す構文 小テスト Paragraph-6 (プリント)
第10回	(10) 関係詞を使った構文 小テスト Paragraph-7 (プリント)
第11回	(11) 条件・仮定を表す構文 小テスト Paragraph-8 (プリント)
第12回	(12) 譲歩を表す構文 小テスト Paragraph-9 (プリント)
第13回	(13) 相関関係を表す構文 小テスト Paragraph-10 (プリント)
第14回	(14) 否定構文 小テスト Paragraph-11 (プリ
第15回	(15) その他の構文(プリント) 小テスト Paragraph-12 (プリント)
第16回	定期試験 (中間試験以降~15回の学習内容から出題する)

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588020901	科目番号 / Subject code	05880209
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (A) / English for Specific Purposes (A)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hijimasako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室 / Laboratory			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水3		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	TOEICテストの得点向上をめざし、リーディングセクションのために読解力をつける。		
授業到達目標 / Goal	難関と言われるTOEICテストのために、読解力をみがき自信をつける。		
授業方法 (学習指導法) / Method	演習形式で行います。ペアワークをしますので、欠席しないようにしてください。インターネットを使って活動を行い、テキストの音読やパートナーとの読み合わせを行います。		
授業内容 / Class outline / Con			
キーワード / Key word	TOEIC、リーディング		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	新TOEIC TEST リーディングスピードマスター、Jリサーチ出版、Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	定期試験50%、小テスト30%、授業中の発表20%		
受講要件 (履修条件) / Requirements	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	教科書を勉強するとともに、やさしい英語の本を多読しましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1回	オリエンテーション、教科書 Day 1、e-learning		
2回	教科書 Day 2、Workbook 1、e-learning		
3回	教科書 Day 3、Workbook 2、e-learning		
4回	教科書 Day 4、Workbook 3、e-learning		
5回	教科書 Day 5、Workbook 4、e-learning		
6回	教科書 Day 6、Workbook 5、e-learning、小テスト		
7回	教科書 Day 7、Workbook 6、e-learning		
8回	教科書 Day 8、Workbook 6、e-learning		
9回	教科書 Day 9、Workbook 7、e-learning		
10回	教科書 Day 10、Workbook 7、e-learning		
11回	教科書 Extra、Workbook 8、e-learning		
12回	教科書 Extra、Workbook 8、e-learning、小テスト		
13回	教科書 模擬試験、Workbook 9、e-learning		
14回	教科書 模擬試験、Workbook 9、e-learning		

15回	教科書 模擬試験、Workbook 10、e-learning
16回	期末試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/10/05 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588021001	科目番号 / Subject code	05880210
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (B) / English for Specific Purposes (B)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	CONNOR SUZY / CONNOR SUZY		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	CONNOR SUZY / CONNOR SUZY		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	CONNOR SUZY / CONNOR SUZY		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mailsuzyinenglish@gmail.com		
担当教員研究室/Laboratory			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	Before and after class by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	The aims of this course are to activate the English acquired thus far and to continue to improve TOEIC performance with particular focus on listening practice.		
授業到達目標/Goal	Students will be more confident in TOEIC test-taking. Students who continue with English classes will further increase their confidence and ability to communicate more effectively in English.		
授業方法 (学習指導法) /Method	The course is based on a text which focuses on TOEIC practice. As overall English proficiency improves scores, plenty of in-class English use is most important! Supplementary materials will be used as needed.		
授業内容/Class outline/Con	<p>Note: Subject to Change!!</p> <p>1-Course Introduction Unit 8 Part 1 2-Unit 9 Part 2 3-Unit 10 Part 3 4-Unit 11 Part 4 5-Unit 12 Part 5 6-Unit 13 Part 6 7-Unit 14 Part 7 8-Unit 15 Part 1 9-Unit 16 Part 2 10-Unit 17 Part 3 11-Unit 18 Part 4 12-Unit 19 Part 5 13-Unit 20 Part 6 14-Unit 21 Part 7 15-Quiz</p>		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	1. Tactics for TOEIC Listening and Reading Test 2. A comprehensive bilingual dictionary of your choice (MUST be brought to class EVERYDAY)		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	Class work: 30% Homework: 30% Tests and Quizzes: 40%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	<p>In order to ensure equal educational opportunities for all students, Nagasaki University strives to remove societal barriers that may interfere with academic activities, and to provide reasonable accommodations as necessary and appropriate. If you have any questions or concerns regarding reasonable accommodations or other support in this class, please feel free to talk to the instructor (contact information above), or contact the Student Accessibility Office.</p> <p>Student Accessibility Office contact information (Tel) 095-819-2006 (Fax) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	Full details will be given on the first day of class. Attendance and participation in class are mandatory! ALL STUDENTS MUST HAVE A NEW TEXTBOOK!!!		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/20		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588021101	科目番号 / Subject code	05880211
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (C) / English for Specific Purposes (C)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	古村 由美子 / Yumiko Furumura		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Object Student	留学を希望する学生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	furumura@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	本館531号室(片淵)		
担当教員TEL/Tel	:095-820-6394		
担当教員オフィスアワー/Office hours	emailにて予約後、来室してください		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	将来留学するために必要なIELTSのテスト内容を理解し、問題形式に慣れる。他のテストとの違いを理解する。IELTS初心者のための授業。		
授業到達目標/Goal	出題される内容は物理学を中心とする科学工学的な分野、生物学を中心とする生命科学的分野、人文学や社会科学を中心とする分野など多岐にわたっているため、広範囲な語彙の習得を目指し、IELTSのリスニング、リーディングで得点を伸ばすことに焦点をあてるが、スピーキング、ライティングの練習も時間が許せば行う。		
授業方法(学習指導法)/Method	テキストに従って、各スキル別の問題傾向を理解し、模擬テストを受験し、復習を行う。TOEFLのミニテスト4回と語彙テストも2回実施する		
授業内容/Class outline/Con	テキストに従って、それぞれのスキルについて説明を行った後、各スキルを伸ばすための練習を行う。模擬試験と復習を繰り返す。		
キーワード/Key word	IELTS, Listening, Reading, vocabulary		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『改訂版 パーフェクト攻略IELTS』宮前一廣著、テイエス企画		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業参加態度・出席：20%、スーパー英語オンライン学習：20% 語彙テスト2回：20% TOEFLミニテスト(最高得点)：20% 期末テスト(模擬テスト)：20% 5回以上欠席した場合は単位修得ができない。		
受講要件(履修条件)/Requirements	Homework(オンライン学習)を必ず行うこと		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	留学希望者対象。留学を希望している大学に必要な英語テストの種類を調べてから受講してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1. 4/6	オリエンテーション/IELTSとTOEFLの違いについての説明		
2. 4/13	TOEFLミニテスト1 / IELTS問題説明/リスニング問題説明・演習		
3. 4/20	リスニング問題説明・演習		
4. 4/27	リスニング問題説明・演習		
5. 5/11	リスニング問題説明・演習		
6. 5/18	リスニング問題説明・演習		
7. 5/25	TOEFLミニテスト2 / リスニング問題説明・演習		
8. 6/1	語彙テスト1/リーディング問題説明・演習		

9. 6/8	リーディング問題説明・演習
10. 6/15	リーディング問題説明・演習
11. 6/22	TOEFLミニテスト3 /リーディング問題説明・演習
12. 6/29	リーディング問題説明・演習
13. 7/5	ライティング問題説明・演習
14. 7/13	語彙テスト2 /ライティング・スピーキング問題説明・演習
15. 7/20	TOEFLミニテスト4 /スピーキング問題説明・演習
16. 7/27	期末テスト

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5
開講期間 / Class period	2016/10/05 ~ 2017/01/25		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20160588021301	科目番号 / Subject code	05880213
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 22111_032		
授業科目名 / Subject	English for Specific Purposes (D) / English for Specific Purposes (D)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin, FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	TOM DESI FAYMIN / Tom Desi Faymin, FRITZ ROBINSON ENRIQUE / Fritz Robinson Enrique		
科目分類 / Class type	自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	desi@nagasaki-u.ac.jp, rob-fritz@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	Katafuchi - Hon Kan 607, Hon Kan 503		
担当教員TEL / Tel	095-820-6395, 095-820-6398		
担当教員オフィスアワー / Office hours	Thursday 16:15-17:00 & Friday 13:15-14:00, or by appointment		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	This class will introduce the IELTS Speaking & Writing sections and develop your English speaking and writing skills to perform better on the test.		
授業到達目標 / Goal	Improve IELTS performance.		
授業方法 (学習指導法) / Method	Textbook work and practice tests.		
授業内容 / Class outline / Con	See class schedule		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Materials will be provided.		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	Not yet decided.		
受講要件 (履修条件) / Requirements	Assignments 25% Participation 25% Speaking Exam 25% Writing Exam 25%		
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	Join if you are serious about studying abroad.		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1	Introductions and overview		
2	Topic 1		
3	Topic 2		
4	Topic 3		
5	Topic 4		
6	Topic 5		
7	Topic 6		
8	Topic 7		
9	Topic 8		
10	Topic 9		
11	Topic 10		
12	Topic 11		

13	Topic 12
14	Topic 13
15	Topic 14

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 2クオ ーター / Second Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/06/08 ~ 2016/08/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160590090501	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Subject	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 安部 俊二 / Shiyunji Abe, 黒滝 直 弘 / Kurotaki Naohiro		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 篠崎 正人 / Shinozaki Masato, 安部 俊二 / Shiyunji Abe, 黒滝 直 弘 / Kurotaki Naohiro		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟44 / RoomB-44		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時、在室ならいつでも可		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、そ の多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚」し、国家再 建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼 して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、平 和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基礎 的資料と基本的な分析理論を提供しゆとするものである。		
授業到達目標/Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深く理解し、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平和と平等を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、 ビデオ、DVD、スライドなども利用する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
キーワード/Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、テロ、集団的自衛権		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、DVD、ビデオなどを利 用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋。舟越編『ナガサキから平和学する』法 律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講要件は特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなる社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポートに ついては、担当教員またはアシスト広場(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室) 電話095-819-2006、ファクス095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、 平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。IS邦人人質事件などにも関心。原爆資料 館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 6月8日5限	戸田 ナガサキから平和学する 原爆の非人道性と違法性・戦争犯罪 核兵器と核発電		
2 6月8日6限	戸田 第二次大戦における独日米の戦争犯罪		
3 6月15日5限	安部俊二 近代日本の教育 小学校		
4 6月15日6限	安部 近代日本の教育 大学		
5 6月22日5限	安部 近代日本の教育 軍隊1		
6 6月22日6限	安部 近代日本の教育 軍隊2		
7 6月29日5限	山川剛 私の被爆・被爆後体験		
8 6月29日6限	戸田 原爆。ベトナム枯葉作戦 劣化ウラン弾		
9 7月6日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる		
10 7月6日6限	休講		

1 1	7月13日5限	西岡由香 世界から見たナガサキ 90日間世界一周
1 2	7月13日6限	西岡 いのちを守るまちづくり
1 3	7月20日5限	篠崎正人 有事体制と長崎・佐世保1
1 4	7月20日6限	篠崎 有事体制と長崎・佐世保2
1 5	7月27日5限	黒滝直弘 健康格差について1
1 6	7月27日6限	黒滝 健康格差について2

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2016/12/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160590090502	科目番号 / Subject code	05900905
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11261_001		
授業科目名 / Subject	平和講座 / On the Peace		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
授業担当教員名(科目責任者) / Professor in charge of the subject	戸田 清 / Toda Kiyoshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Professor(s)	戸田 清 / Toda Kiyoshi, 関口 達夫 / Sekiguchi Tatsuo, 国武 雅子 / Kunitake Masako, 富塚 明 / Tomiduka Akira		
科目分類 / Class type	A科目群 総合科目, 総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Object Student	全学部 1年、2年、3年、4年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	toda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	環境科学部 4階環404戸田教員室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2726		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜午後4時から5時。在室ならいつでも可。		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	長崎大学文教キャンパスは三菱兵器製作所大橋工場の跡地であり、ここでは学徒動員令や女子挺身 勤労令などによって動員された多くの若者たちが航空機用魚雷の生産に従事中、原爆によって、 その多くが爆死した。敗戦後、日本人は「人間相互の関係を支配する崇高な理想を自覚し」、国家 再建の基礎を「人類普遍の原理」に求めて戦争を放棄し、「平和を愛する諸国民の公正と信義に信 頼して安全と生存を保持しよう」と決意した。」1983年に始まった本講座は、その決意を受け継ぎ、 平和を愛し探究心に富む学生諸君の思索と生活の原点に資すべく、戦争・暴力・平和についての基 礎的資料と基本的な分析理論を提供しようとするものである。		
授業到達目標/Goal	戦争の実態、暴力と平和についての認識を深め、世界の情勢を深く理解し、基本的人権を尊重して 自由と平等と平和を愛する文化国家の建設に努める態度を身につけることができる。		
授業方法(学習指導法)/Method	各講義ごとに、担当講師が講義に使用するプリントなどを用意し、講義を行う。講師によっては、 ビデオ、DVD、スライドなども利用する。		
授業内容/Class outline/Con	講義内容は多岐にわたるので、以下のように各講師がそれぞれテーマを掲げて講義する。		
キーワード/Key word	戦争、暴力、平和、格差、原爆、原発、枯葉剤、劣化ウラン、有事体制、イラク戦争、構造的暴力 、死刑、集団的自衛権、テロ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いないが、プリント資料を適宜配布し、またスライド、ビデオ、DVDなどを利 用して、講義の理解を深めるのに役立つ。参考書は高橋・舟越編『ナガサキから平和学する』法 律文化社2009年、戸田清『核発電を問う』法律文化社2012年、など。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	レポート100%。出席を欠かさず、受講することを重視する立場から、講義への取り組みの積極 性と担当講師が課したレポートの作成を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)/Requirements	受講要件は特になし。		
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、すべての学生が平等に教育を置ける機会を確保するため、修学の妨げとなりうる社 会的障壁の除去および合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮などのサポ ートについては、担当教員またはCにご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 電話095-819-2006 ファクス 095-819-2948 電子メール support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	http://todakiyosi.web.fc2.com/		
学生へのメッセージ/Message for students	被爆地の大学に学ぶ学生として、書籍、新聞、テレビ、インターネットなどを通じて戦争、暴力、 平和をめぐる世界と日本の動向に関心をもってほしい。ISの人質事件などにも関心をもってほし い。長崎原爆資料館だけでなく、岡まさはる記念長崎平和資料館も訪れてほしい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1 10月5日5限	戸田清 ナガサキから平和学する 原爆の非人道性と違法性、戦争犯罪		
2 10月5日6限	戸田 第二次大戦における独日米の戦争犯罪		
3 10月12日5限	戸田 福島原発事故		
4 10月12日6限	戸田 日本の政策と潜在的核武装		
5 10月19日5限	国武雅子 女性の戦争協力		
6 10月19日6限	国武 銃後の生活		
7 10月26日5限	国武 日本軍「慰安婦」問題		
8 10月26日6限	国武 日本軍「慰安婦」問題2		
9 11月2日5限	川野浩一 私の被爆、被爆後体験		

10	11月2日6限	戸田 原爆、ベトナム枯葉作戦、劣化ウラン弾
11	11月9日5限	山崎年子 二重被爆の父と生きる
12	11月9日6限	富塚明 博兵器廃絶運動、原爆症認定裁判
13	11月16日5限	富塚 日米関係を考える
14	11月16日6限	関口 長崎原爆を報道する
15	11月30日5限	関口 長崎原爆を報道する 集団的自衛権
16	11月30日6限	休講

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 1クォーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 5, 水 / Wed 6
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/06/04		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160590090601	科目番号 / Subject code	05900906
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEOC 11511_001		
授業科目名 / Subject	キャリア概論 / Introduction to Career Development		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	深尾 典男 / Fukao Norio, 坂巻 正伸 / Sakamaki Masanobu, 川崎 昌子 / Kawasaki Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	深尾 典男 / Fukao Norio		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	深尾 典男 / Fukao Norio, 坂巻 正伸 / Sakamaki Masanobu, 川崎 昌子 / Kawasaki Masako		
科目分類 / Class type	総合科学科目, 自由選択科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Object Student	全学部からの受講を認めますが、企業等への就職を前提としている学生を優先します		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	fukao@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	広報戦略本部 (事務局棟2F)		
担当教員TEL/Tel	819-2008		
担当教員オフィスアワー/Office hours	9:30 - 19:30		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と社会の関係について学ぶ ・社会参画のために必要とされるスキルや社会人基礎力について学ぶ ・大学での学びが社会人としての素養にどのように関係するかを理解する ・勤労観と職業観を育み、キャリアデザインのための考え方と行動につなげるための手法を身に着ける。 		
授業到達目標/Goal	社会参画に対する意識を高めることを授業の狙いとする、授業を通して自らのキャリアデザインについて考えると同時に、学士課程教育で身につけるべき素養についての目標設定を行う。		
授業方法 (学習指導法) /Method	配布するレジюмеに基づいて授業を進める。適宜討論の時間を設けると同時に、受講生は授業内で発表を行う。多面的な考え方、基本的な素養を身に着けるために、ゲストスピーカーも招聘する予定。		
授業内容/Class outline/Con			
キーワード/Key word	キャリア、社会人基礎力、コミュニケーション、プレゼンテーション		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は用いません。授業計画に沿ってパワーポイント等を使用して講義を行います。関係する資料等については、eラーニングシステムを通じて配布することもあります。参考データ、資料は随時提示します。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	出席状況と授業態度、予習・復習の状況、レポートの提出状況および内容を総合的に評価します。		
受講要件 (履修条件) /Requirements	全講義に出席できることを受講要件とします。		
アクセシビリティ/Accessibility			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	グループワークを中心に授業を進めます。積極的に議論に参加し、自身の考えをアピールできるようにしましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回 (4/6, 5校時)	キャリア概論の概要と狙い		
第2回 (4/13, 5校時)	社会理解 1 / 働くことの意味 1		
第3回 (4/13, 6校時)	社会理解 2 / 働くことの意味 2		
第4回 (4/20, 5校時)	社会理解 3 / 社会人基礎力		
第5回 (4/20, 6校時)	社会理解 4 / 社会人基礎力		
第6回 (4/27, 5校時)	社会参画で求められる素養 1		
第7回 (4/27, 6校時)	社会参画で求められる素養 2		
第8回 (5/11, 5校時)	社会参画で必要な能力を高める 1		
第9回 (5/11, 6校時)	社会参画で必要な能力を高める 2		
第10回 (5/18, 5校時)	社会参画で必要な能力を高める 3		
第11回 (5/18, 6校時)	社会参画で必要な能力を高める 4		
第12回 (5/25, 5校時)	コミュニケーション能力を鍛える 1		
第13回 (5/25, 6校時)	コミュニケーション能力を鍛える 2		
第14回 (6/1, 5校時)	キャリアプランを考える 1		

